

令和5年度 一般会計決算附属資料

教育委員会事務局 主要な施策の成果

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																						
	項	01 農業費	9,052千円		9,074千円	22千円	99.7 %																								
	目	02 農業総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																						
	事業	03 アグリセンター-管理運営事業					6,827千円																								
基本計画		02 6次産業化・ブランド化で農林業を振興	主な財源	使用料	アグリセンター-使用料				1,855千円																						
目的		農業・農村の活性化を目的に設置したアグリセンター大宮を、地域づくり、農業経営体及び地域リーダーの育成、さらには地域住民の福祉や健康の増進を目的とした各種イベントや講演会などに有効活用できるよう適切に維持管理する。		負担金	アグリセンター-使用料光熱水費等負担金				108千円																						
主要な事務・事業の概要	○需用費		5,748千円		○備品購入費					104千円																					
	・消耗品費（トイレットペーパー、蛍光灯ほか）		110千円		ワイヤレスマイク、消火器（1本）																										
	・燃料費（ガス、灯油）		859千円		〈利用状況〉																										
	・印刷製本費（利用申請書）		37千円																												
	・光熱水費（電気、上下水道代）		2,263千円		<table><tr><th>区 分</th><th>利用回数</th><th>利用人数</th></tr><tr><td>農業技術研修室</td><td>299 回</td><td>2,490 人</td></tr><tr><td>視聴覚教育室</td><td>421 回</td><td>4,388 人</td></tr><tr><td>地域活性化研修室（和室）</td><td>293 回</td><td>2,814 人</td></tr><tr><td>多目的ホール（エントランス含む）</td><td>210 回</td><td>13,590 人</td></tr><tr><td>調理加工実習室</td><td>31 回</td><td>307 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,254回</td><td>23,589 人</td></tr></table>					区 分	利用回数	利用人数	農業技術研修室	299 回	2,490 人	視聴覚教育室	421 回	4,388 人	地域活性化研修室（和室）	293 回	2,814 人	多目的ホール（エントランス含む）	210 回	13,590 人	調理加工実習室	31 回	307 人	合 計	1,254回	23,589 人	
	区 分	利用回数	利用人数																												
	農業技術研修室	299 回	2,490 人																												
	視聴覚教育室	421 回	4,388 人																												
	地域活性化研修室（和室）	293 回	2,814 人																												
	多目的ホール（エントランス含む）	210 回	13,590 人																												
調理加工実習室	31 回	307 人																													
合 計	1,254回	23,589 人																													
・修繕料（施設設備）		2,479千円																													
○役務費		70千円																													
・通信運搬費（FAX使用料）		33千円																													
・消火器リサイクル料		4千円																													
・ピアノ調律手数料		13千円																													
・火災保険料		20千円																													
○委託料		3,123千円																													
施設清掃、休日・夜間管理、舞台吊物機構保守点検、移動観覧席保守点検				成果・課題	○農林業の振興にかかる研修会・講演会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。 ○平成9年建築の施設で建築後26年が経過しており、設備や機材の老朽化が進行しており、計画的な改修及び適切な維持管理を行う必要がある。																										
空調設備保守点検、自動ドア保守点検、防虫管理、消防設備点検、特定建築物建築設備等定期点検																															
○使用料及び賃借料（テレビ受信料）		7千円																													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,985千円		4,156千円	171千円	95.8 %		
	目	01 教育委員会費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	50 教育委員会一般経費					4,042千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて設置されている教育委員会の委員活動や研修等を実施する。							
主要な事務・事業の概要	○教育委員報酬（4人）		3,490千円						
	・報酬		3,456千円						
	教育委員 月額72千円×12月×4人								
	・費用弁償		34千円						
	教育委員会（定例会、臨時会、協議会）、総合教育会議								
	○教育委員視察研修等経費		213千円						
管外視察、京都府市町村教育委員会定期総会、研修会ほか									
・費用弁償		195千円							
・駐車場使用料、有料道路使用料		18千円							
○丹後地方教育員会連合会負担金		282千円							
				成果・課題	○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。 ○教育課題や重要施策等に適切に対応するため、委員協議会を開催し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	13,159千円		13,274千円	115千円	99.1 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	03 指導主事設置事業						12,868千円	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実							
目的		学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。							
主要な事務・事業の概要	4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 【指導主事 4人】 ○会計年度任用職員任用経費 12,924千円 ・報酬 9,057千円 ・期末手当 1,631千円 ・共済費（社会保険料、雇用保険料等） 1,839千円 ・費用弁償 397千円 ○市内業務移動に係る費用弁償 230千円 ○消耗品費 5千円				【指導主事配置状況】				
					配置先			配置人数	所管町域
					峰山地域公民館			1人	峰山町
					大宮地域公民館・久美浜地域公民館			1人	大宮町、久美浜町
					網野地域公民館			1人	網野町
	丹後地域公民館・弥栄地域公民館			1人	丹後町、弥栄町				
					成果・課題	学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	19,677千円		19,682千円	5千円	99.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 学校医委嘱事業					19,611千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校保健安全法に基づき、学校における保健管理に関する学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を全ての小学校及び中学校に置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○学校医（計11人）		8,460千円						
	【学校数：23校、児童生徒数：3,560人（R5.5.1時点）】								
	・報酬	8,455千円							
	・費用弁償	5千円							
	○学校歯科医（計14人）		8,459千円						
	【学校数：23校、児童生徒数：3,560人（R5.5.1時点）】								
	・報酬	8,454千円							
	・費用弁償	5千円							
	○学校薬剤師（計10人）		2,758千円						
	・報酬	2,741千円							
1校目（8校）		154,000円		成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。				
2校目（15校）		92,400円（154,000円×60%）							
・費用弁償	17千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,776千円		4,867千円	91千円	98.1 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	05 学務経費					4,972千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○就学時健康診断（受診人数：342人） （医師謝金、費用弁償、新型コロナ対策用消耗品費等）		696千円		○（独）日本スポーツ振興センター共済掛金 （小学生2,351人、中学生1,209人） 3,315千円				
	○学務経費 ・健康管理票作成等（消耗品費、印刷製本費） ・学齢簿関連システム保守委託料 ・人権教育研究会活動に係る資料代（消耗品費） ・各中学校区での特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） ・峰山学園（開催日：10月23日（月）、参加者数：39人） ・大宮学園（開催日：11月 7日（火）、参加者数：18人） ・網野学園（開催日：10月25日（水）、参加者数：52人） ・丹後学園（開催日：11月 8日（水）、参加者数：22人） ・弥栄学園（開催日：12月 5日（火）、参加者数：12人） ・久美浜学園（開催日：10月27日（金）、参加者数：40人） ・事務用品（ファイル等）		467千円 23千円 264千円 23千円 47千円 110千円		○その他負担金 京都府学校保健会、京都府学校保健主事会、 京都府特別支援教育研究協議会、教育研究事業、 教科用図書選定協議会の各負担金 298千円				
						成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,668千円		6,693千円	1,025千円	84.6 %		課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	06 学校安全対策事業					6,693千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3）			816千円
			諸収入		市有自動車損害共済金			198千円	
目的		児童生徒が被害者となる事件等を未然に防ぎ、子どもたちの安全を確保するため、子ども安心パトロール車を配置、運行する。 また、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備するためスクールガード・リーダーを配置し、登下校時の巡回指導や安全確保、被害防止対策を講じるとともに、通学路の安全を確保するため、除雪機を配置する。							
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理		3,782千円		【にこにこカー配車一覧】				
	各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。								
	・燃料費（ガソリン代）		996千円						
	・修繕料（車検ほか）		1,898千円						
	・手数料・保険料・公課費		888千円						
	○学校の除雪活動		127千円						
	積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。								
	・保険料（ボランティア活動保険・登録者数6人）		2千円						
	・修繕料（除雪機）		125千円						
	○スクールガード・リーダー巡回・指導		1,759千円						
警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 【年間巡回活動等の実績：5人で330回】				成果・課題	○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童、生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有し、児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、道路管理者等関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。				
・報償金（活動謝金）		1,756千円							
・保険料（総合補償保険料）		3千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	852千円		865千円	13千円	98.4 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	08 就学支援・教育相談事業					865千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	児童生徒の問題行動、心身の悩みや不登校等に対応するため、臨床心理士による教育相談を実施するとともに、児童生徒を指導、支援する教職員に対し、各種研修を行う。 また、児童生徒の特性に応じた教育支援を適切に行うため、発達検査を実施し、児童生徒の特性の理解や支援の手がかりとする。								
主要な事務・事業の概要	各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適應の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。 ○教育相談事業 ・相談場所 大宮庁舎及び各小中学校 ・教育相談の実施者 臨床心理士（教育委員会事務局学校教育課所属） ・実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校） 合計152回実施 ・相談件数 延べ199件 ○研修事業 ・教育相談担当者研修 教職員23人 年3回 ・事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校）				○教育支援に係る発達検査の実施 852千円 ・消耗品費 201千円 知能検査記録用紙（WISC-IV、日本版KABC-II）ほか ・備品購入費 651千円 WISC-V検査コンプリートセット（4台）				
					成果・課題	○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、適切な支援へとつながり、児童生徒の学校適応が推進された。 ○小中学校ともに不登校出現率が大きく増加（R4年度比：小学校1.8倍、中学校1.2倍）したため、実態の分析を進めるとともに、居場所確保に向けた必要な支援や連携を推進する必要がある。 ○コロナ感染症が一定落ち着き、子どもたちの交流が活発になる中、コミュニケーションスキルを高めるための教育プログラムの実施や、相談窓口の周知徹底などの対応を確実に進めていく。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費	13,146千円		13,335千円	189千円	98.5 %														
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課												
	事業	09 教育支援センター管理運営事業					15,017千円														
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	不登校児童生徒に対する支援推進事業費補助金（1/3）				371千円												
目的		心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。		府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）				613千円												
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				8,000千円												
主要な事務・事業の概要	不登校やその傾向にある児童生徒について、個々の状況をふまえ、多様な学びの機会をとおして、社会的自立の基盤となる自己肯定感や自己有用感が育める居場所として教育支援センター「麦わら」を設置 ○会計年度任用職員任用経費（6人分） ・報酬 ・期末手当 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） ・費用弁償 ○消耗品費 ○食糧費 ○管理経費（燃料費、修繕費） ○役務費（通信運搬費 ほか） ○使用料及び賃借料（コピー機借上料） ○工事請負費（空調機設置費） ○備品購入費（図書）		11,897千円		＜教育支援センター運営体制・実績＞ ・配置人数 6人 教育支援センター支援員（会計年度任用職員） ・配置体制 1日当たり3～4人（各支援員 週3日 1日7時間） ・通所児童生徒数 17人（小学生9人、中学生8人） ・相談延べ件数 890件 ・来所延べ人数 1,537人 ・延べ訪問回数 52回																
			8,431千円		<table><tr><td>年度</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>通所利用登録者</td><td>17人</td><td>21人</td><td>15人</td><td>13人</td><td>17人</td></tr></table> 教育支援センター（峰山町杉谷）の開設は、平成25年1月31日。					年度	R元	R2	R3	R4	R5	通所利用登録者	17人	21人	15人	13人	17人
			年度	R元						R2	R3	R4	R5								
			通所利用登録者	17人						21人	15人	13人	17人								
			1,535千円																		
			1,560千円																		
			371千円																		
			112千円																		
			1千円																		
			99千円																		
			111千円																		
			163千円																		
	742千円																				
21千円																					
成果・課題		○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。 ○市内の中学校の不登校児童が増加していることから、府配置のスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	3,677千円		3,844千円	167千円	95.6 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	10 地域学校協働本部事業					4,259千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）				1,563千円	
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図るため、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターを配置する。									
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。				【ボランティア活動の内容等】					
	○地域コーディネーター配置（各中学校1人：計6人） ・地域コーディネーター謝金 ・地域コーディネーター費用弁償 ○広報紙の発行（年2回：ボランティア募集、活動報告） ・印刷製本費 ○その他経費（旅費、消耗品等） <活動概要> ・実施期間 ・実施場所 ・ボランティア登録者数				・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等）					
								成果・課題		
								○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがいづくりになっている。 ○学校活動の多様なニーズを把握するとともに、それに対応するボランティアを確保し、ニーズや特徴を充足する日数や内容の活動を行うことが必要である。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	01 教育総務費	579千円		660千円	81千円	87.7 %																						
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額																						
	事業	11 学習支援体制整備事業					860千円																						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3） 382千円																									
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、生徒と保護者のニーズを踏まえ、放課後を活用した子どもたちの学びを支援する教育活動を実施する。																												
主要な事務・事業の概要	○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 579千円 放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。																												
	<table><thead><tr><th>学校名</th><th>回数</th><th>参加者数（延べ）</th></tr></thead><tbody><tr><td>峰山中学校</td><td>17回</td><td>325人</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>16回</td><td>393人</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>23回</td><td>631人</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>25回</td><td>743人</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>39回</td><td>492人</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>38回</td><td>1,163人</td></tr></tbody></table> ※時期・回数・時間等計画内容は、学校によって異なる。				学校名	回数	参加者数（延べ）	峰山中学校	17回	325人	大宮中学校	16回	393人	網野中学校	23回	631人	丹後中学校	25回	743人	弥栄中学校	39回	492人	久美浜中学校	38回	1,163人				
学校名	回数	参加者数（延べ）																											
峰山中学校	17回	325人																											
大宮中学校	16回	393人																											
網野中学校	23回	631人																											
丹後中学校	25回	743人																											
弥栄中学校	39回	492人																											
久美浜中学校	38回	1,163人																											
				成果・課題	中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,175千円		1,483千円	308千円	79.2 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	12 学校跡施設管理事業					2,471千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源					
目的		学校再配置により閉校となった学校跡施設の適切な維持管理を行う。							
主要な事務・事業の概要	○学校跡施設等修繕料（4施設） 照明灯ポール撤去、消防設備、消火水槽の修繕等、施設の適正管理を図った。 修繕施設： 旧丹波小学校、旧大宮第三小学校、旧橘小学校 旧豊栄小学校			520千円					
	○手数料 貯水槽法定検査			22千円					
	○建物火災保険料			209千円					
	○委託料 貯水槽等保守点検、雑木伐採委託料、除草作業委託料			424千円					
					成果・課題	学校跡施設の民間による利活用を進めることができた。また、施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。			

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費	1,740千円		1,741千円	1千円	99.9 %														
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課												
	事業	13 学校教育施設整備基金					1,692千円														
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入 土地建物貸付収入 1,737千円 財産収入 学校教育施設整備基金利子収入 3千円																
目的		学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金に積み立てるもの。																			
主要な事務・事業の概要	○学校教育施設整備基金積立金 1,740千円 建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる																				
	・旧大宮第三小学校分 302千円 ・旧三津小学校分 1,326千円 ・旧橘小学校分 109千円 ・基金利子分 3千円																				
	(単位：千円)																				
	<table><tr><td rowspan="2">令和4年度末 現在高 ①</td><td colspan="3">令和5年度中増減額</td><td rowspan="2">令和5年度末 現在高 ①-②+③+④</td></tr><tr><td>繰入金 ②</td><td>運用利子 ③</td><td>積立金 ④</td></tr><tr><td>8,621</td><td>0</td><td>3</td><td>1,737</td><td>10,361</td></tr></table>				令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高 ①-②+③+④	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	8,621	0	3	1,737	10,361				
令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高 ①-②+③+④																	
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																		
8,621	0	3	1,737	10,361																	
				成果・課題																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	745千円		746千円	1千円	99.8 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	14 保幼小中一貫教育推進事業					874千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償）102千円 ・委員 14人（学識経験者、PTA役員、学校教職員等） ・開催回数 2回（12月・3月） ・調査研究内容 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 ○学校教育連携専門部会 4千円 ・委員 9人 アドバイザー3人 ・開催回数 2回（10月・1月） ○GIGAスクールICT教育実践研修会 442千円 ・開催回数 5回（6月・9月・11月・12月・1月） ・場所 第1回 大宮第一小、第2回 峰山中、第3回 しんざん小 第4回 峰山小、第5回 オンライン ・研修内容 講師：株式会社EdLog 代表取締役社長 中川 哲 氏 6月 GIGAスクールによる教育の変容 9月 授業及び評価におけるICT活用について 11月 GIGAスクールによる学校・授業スタイルの変容 12月 今後の方向性及び授業観・指導観の質的転換について 1月 GIGAスクール構想による教育活動及び授業の変容について ○小中一貫教育全国連絡協議会負担金 30千円				○学力向上対策会議研修会（講師謝金）47千円 開催日： 令和5年10月6日（金） ・場所 大宮南小 対 象： 市内小中学校教員、教育関係者 参加者：約100人 講 師： 樋口 万太郎 氏（香里ヌヴェール学院小学校 教諭兼研究員） 内 容： 実践に定評のある講師から、実際の授業を通して指導方法を学ぶ ○教育フォーラムの開催（講師謝金、消耗品費）120千円 開催日： 令和6年1月21日（日） ・場所 アグリセンター 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者ほか 参加者：102人 講 師： ヤング吉原 麻里子 氏（一般社団法人SKY Labo 共同代表） 内 容： 本市の人材育成について、講師との対談を通して考える				
	成果・課題	○保幼小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。 ○児童生徒の学力向上のための指導方法を学ぶ機会として研修会を開催することができた。また、教育フォーラムを開催し、本市の保幼小中一貫教育の取組について広く市民への周知を行うことができた。 ○GIGAスクール構想による学校・授業スタイルの変容について講演、実践形式で学び、授業に活かすことができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,085千円		5,827千円	742千円	87.2 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	15 保幼小中一貫教育実践事業					5,827千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育を実践し、学力の向上及び生徒指導上の課題解決を目指すとともに、将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる子どもを育成するほか、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○小中連携・小小連携・保幼小連携の取組（各中学校区単位） （報償費、消耗品費、印刷製本費等） ・峰山学園：SNS研修会、授業体験等 630千円 ・大宮学園：SNS研修会、授業体験等 599千円 ・網野学園：授業研修会、ゲーム・ネット講座等 705千円 ・丹後学園：部活動体験、授業実践力向上講演会等 398千円 ・弥栄学園：情報モラル学習会、授業体験等 522千円 ・久美浜学園：SNS講演会、講演会等 598千円				○京丹後市保幼小中一貫教育研修会（講師謝金、通信運搬費） 63千円 開催日： 令和5年8月2日（水） 参加者： 89人 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者 講 師： 石川 英明 氏（株式会社コーデュケーション 代表取締役） 場 所：アグリセンター大宮				
	○特色ある学校づくりの取組（報償費、消耗品費、委託料等） 1,570千円 実施校：全校 主な取組：郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習、 ばら寿司作り、福祉体験講座、性教育、SDGsに関する取組等				成果・課題	○保幼小中一貫教育の実施によりを設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○特色ある学校づくりとして、地域に関する学習を支援することにより「丹後学」の充実を図ることができた。 ○今後もより効果的な連携を進めていくため、教育研修会の内容を充実させていく必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費							
	目	02 事務局費						1,746千円	
	事業	16 いじめ防止啓発推進事業							
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、市が一体となっていじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置するほか、いじめ・不登校の防止等の取組において早期発見・解決に向けSNS相談窓口を設置し、児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進する。							
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止講演会（講師謝金） 参加者：51人			97千円	○京丹後市こどもSNS（LINE）相談窓口を設置 1,584千円				
	開催日：令和5年11月22日（水）				・システム保守委託料 660千円				
	対 象：市民、教職員、PTA				・システム使用料 924千円				
	講 師：株式会社マモル 代表取締役社長 隈 有子 氏				開設時間：平日16時～21時				
	会 場：アグリセンター大宮				相談対象：市内に居住する小中学生				
○いじめ防止啓発費用（消耗品費）			44千円	相談体制：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士による相談受付					
いじめ防止啓発に係る懸垂幕の更新（1枚）				【SNS相談実績（令和6年3月末現在）】					
○いじめ相談専用電話設置（通信運搬費）			36千円						
フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料									
開設期間：365日 24時間対応									
相談体制：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士による相談受付									
※いじめ相談件数：0件									
○いじめ防止街頭啓発									
京丹後市こどもSNS相談やフリーダイヤルが掲載されているポケットティッシュを配布									
実施日：令和5年11月8日（水）									
場 所：ショッピングセンターマイン 6人で実施									
				成果・課題	○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、いじめの問題等について、広く周知できた。 ○SNS窓口を通年設置することで、いじめをはじめ、それ以外の幅広い内容についての相談を受けることができた。 ○SNS相談窓口の周知を積極的に行うなど、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	237千円		267千円	30千円	88.7 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	17 いじめ防止対策等運営事業					403千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、市が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置する。								
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人）220千円								○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人）17千円
	いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する指導・助言を担当の指導主事を含む事務局が受け、その内容をとりまとめ各小中学校へ周知した。				保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。				
	開催日：第1回 令和5年9月30日（土） 第2回 令和6年2月20日（火） 第3回 令和6年3月26日（火） 会 場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬182千円 ・旅費（職員旅費・費用弁償）38千円				開催日：令和5年5月23日（火） 会 場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費（委員謝金） 支払対象4人16千円 ・旅費（費用弁償）1千円				
				成果・課題		○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子ども、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。 ○いじめの解決に向けた組織連携や見立ての在り方について、事例研修を行う中で各小中学校の対応力をさらに高める必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																									
	項	01 教育総務費	50,027千円		50,284千円	257千円	99.4 %																																											
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																									
	事業	18 学校情報化推進事業					49,739千円																																											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	公立学校情報機器整備費補助金（1/2）				660千円																																									
目的	GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台タブレット端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。			府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）				165千円																																									
				諸収入	リーディングDXスクール事業委託金（10/10）				275千円																																									
主要な事務・事業の概要	○需用費		2,227千円		○リーディングDXスクール事業				229千円																																									
	・パソコン・校内LAN関連消耗品、修繕費		2,227千円		・講師謝金 2人、3回				161千円																																									
	○通信運搬費		1,129千円		・講師旅費				68千円																																									
	・Wi-Fiルータ通信費		82千円		<参考>パソコン等台数（令和6年3月末時点）																																													
	・光回線通信費		1,047千円		<table><tr><td>区分</td><td>種別</td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>事務局</td><td>合計</td></tr><tr><td rowspan="3">普通教室用</td><td>ノートPC</td><td>17</td><td>0</td><td>0</td><td>17</td></tr><tr><td>タブレット</td><td>146</td><td>57</td><td>0</td><td>203</td></tr><tr><td>タッチパネル式電子黒板</td><td>146</td><td>57</td><td>0</td><td>203</td></tr><tr><td>校務用</td><td>ノートPC</td><td>304</td><td>197</td><td>39</td><td>540</td></tr><tr><td>図書室用</td><td>ノートPC</td><td>17</td><td>6</td><td>0</td><td>23</td></tr><tr><td>授業用</td><td>iPad</td><td>2,691</td><td>1,544</td><td>17</td><td>4,252</td></tr></table>						区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計	普通教室用	ノートPC	17	0	0	17	タブレット	146	57	0	203	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203	校務用	ノートPC	304	197	39	540	図書室用	ノートPC	17	6	0	23	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252
	区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計																																												
	普通教室用	ノートPC	17	0	0	17																																												
		タブレット	146	57	0	203																																												
		タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203																																												
	校務用	ノートPC	304	197	39	540																																												
	図書室用	ノートPC	17	6	0	23																																												
	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252																																												
	○手数料（電子黒板等移設手数料）		175千円		成果・課題																																													
	○委託料		18,379千円																																															
	・サーバーシステム・パソコン・校内LAN等保守委託料		3,818千円		○主体的で協働的な学びの実現に向けた学びの実現に向け、リーディングDX事業を実施し、Googleアカウント導入準備を進めた。 ○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン（校務、普通教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器、並びにGIGAスクール情報機器等整備事業にて導入したタブレット、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○引き続き、ICT支援員を適切に配置しながら、児童・生徒・教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用し、授業改善につなげていく必要がある。																																													
	・サーバー機器更新設定委託料		2,761千円																																															
	・校務支援システム保守委託料		792千円																																															
・ICT支援員業務委託料（5人）		10,513千円																																																
・Googleアカウント発行管理システム導入委託料		495千円																																																
○使用料及び賃借料		27,888千円																																																
・パソコン借上料（校務用パソコン、サーバー）		18,694千円																																																
・ソフトウェア使用料		9,169千円																																																
校務支援システム、ウイルス対策ソフト、採点支援システムほか																																																		
・クラウドサービス利用料（Googleアカウント発行）		25千円																																																
レンタルサーバー使用、ドメイン取得																																																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	17,365千円		17,373千円	8千円	99.9 %		課	学校教育課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額			
	事業	19 グローバル人材育成事業					16,566千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金				4,634千円	
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				12,636千円	
目的		国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。		諸収入	国際交流事業等参加料				95千円	
主要な事務・事業の概要	OKyotango English Day【対象：小3・4年】		1千円		○中学生の海外派遣【対象：中2年】					5,872千円
	CIR・ALTによる異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和5年10月21日（土） 参加者数：11人 （消耗品費、通信運搬費）				学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、中学生を海外へ派遣した。 派遣先：ニュージーランド ニュープリマス 参加者数：15人（選考） 派遣期間：令和6年3月16日（土）～24日（日） 8泊9日間 （コーディネーター謝金、旅費、中学生海外派遣事業費補助金ほか）					
	OKyotango English Camp【対象：小5・6年】		232千円		○Kyotango Sea Labo【対象：中3年・高2年】					5,214千円
	CIR・ALTによる1泊2日の異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和5年10月21日（土）・22日（日） 参加者数：19人 （通信運搬費、施設使用料ほか）				京丹後の良さを学び、STEAM人材として本市の未来を切りひらくイノベーターを育成する探求型ワークショップを英語で開催 ワークショップ等開催期間：令和5年8月8日（火）～12日（土）・9月2日（土） 参加者数：33人（中学3年生：17人、高校2年生：16人） （委託料、講師謝金、費用弁償、施設使用料ほか）					
	○オンライン留学【対象：中1年、高校生】		5千円		成果・課題	○国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。 ○ICTの活用やオンラインによる交流を充実させることにより、生徒の学ぶ意欲の向上を促進するとともに、国際的視野を広げることができた。 ○STEAM教育の推進により、丹後愛を育み、創造性への自信向上等を図ることができた。 ○国際的視野をもった児童生徒を育成するため、さらなる内容の充実を図る必要がある。				
フィリピンとのオンライン交流を実施 ※全体研修7回（高校生は5回）、各家庭でのオンライン交流複数回 事業期間：令和5年10月3日（火）～12月5日（火） 参加者数：中学生20人/高校生10人 （通信運搬費）										
○英語力向上アプリ導入【対象：市内全中1～3年】		6,041千円								
一人一台配付しているタブレットにアプリを導入し、学校及び家庭学習において発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組んだ。 （ライセンス使用料、通信運搬費ほか）										

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局							
	項	01 教育総務費	4,322千円		4,370千円	48千円	98.9 %									
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課							
	事業	20 国際交流員招致事業					4,494千円									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入 京都市市町村職員等共同研修助成金 11千円												
目的	グローバル化に対応するため、一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用し、国際交流員（CIR）を任用する。															
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性で見識や経験を大いに活かした指導、助言を行った。															
	○会計年度任用職員任用経費（国際交流員（CIR）1人）			4,166千円												
	・報酬			3,594千円												
	・共済費（社会保険料、雇用保険料等）			572千円												
	○旅費（費用弁償）			26千円												
	国際交流員研修等															
	○各種負担金			130千円												
	・研修参加負担金			10千円												
	・自治体国際化協会負担金			120千円												
	<table><tr><td></td><td>金額</td></tr><tr><td>人員割負担金</td><td>92千円</td></tr><tr><td>損害保険料</td><td>28千円</td></tr><tr><td>計</td><td>120千円</td></tr></table>				金額	人員割負担金	92千円	損害保険料	28千円	計	120千円					
	金額															
人員割負担金	92千円															
損害保険料	28千円															
計	120千円															
			成果・課題	○国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育やSTEAM教育の推進を図ることができた。 ○継続的な任用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるよう生活面におけるサポートの充実が必要である。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																								
	項	01 教育総務費	4,144千円		4,360千円	216千円	95.0 %																																																										
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																																								
	事業	21 共同学校事務室運営事業					4,360千円																																																										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																																																													
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。																																																																
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費		4,144千円		＜経費内訳＞																																																												
	共同で実施する業務				<table><tr><td>学園別</td><td>消耗品費</td><td>印刷製本費</td><td>修繕料</td><td>通信運搬費</td><td>備品購入費</td><td>合計</td></tr><tr><td>峰山</td><td>156千円</td><td>-</td><td>179千円</td><td>15千円</td><td>656千円</td><td>1,006千円</td></tr><tr><td>大宮</td><td>93千円</td><td>34千円</td><td>30千円</td><td>12千円</td><td>404千円</td><td>573千円</td></tr><tr><td>網野</td><td>256千円</td><td>33千円</td><td>117千円</td><td>22千円</td><td>586千円</td><td>1,014千円</td></tr><tr><td>丹後</td><td>33千円</td><td>-</td><td>68千円</td><td>6千円</td><td>278千円</td><td>385千円</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>60千円</td><td>-</td><td>58千円</td><td>-</td><td>390千円</td><td>508千円</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>186千円</td><td>-</td><td>32千円</td><td>4千円</td><td>436千円</td><td>658千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>784千円</td><td>67千円</td><td>484千円</td><td>59千円</td><td>2,750千円</td><td>4,144千円</td></tr></table>					学園別	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計	峰山	156千円	-	179千円	15千円	656千円	1,006千円	大宮	93千円	34千円	30千円	12千円	404千円	573千円	網野	256千円	33千円	117千円	22千円	586千円	1,014千円	丹後	33千円	-	68千円	6千円	278千円	385千円	弥栄	60千円	-	58千円	-	390千円	508千円	久美浜	186千円	-	32千円	4千円	436千円	658千円	合計	784千円	67千円	484千円	59千円	2,750千円	4,144千円
	学園別	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計																																																										
	峰山	156千円	-	179千円	15千円	656千円	1,006千円																																																										
	大宮	93千円	34千円	30千円	12千円	404千円	573千円																																																										
	網野	256千円	33千円	117千円	22千円	586千円	1,014千円																																																										
	丹後	33千円	-	68千円	6千円	278千円	385千円																																																										
	弥栄	60千円	-	58千円	-	390千円	508千円																																																										
	久美浜	186千円	-	32千円	4千円	436千円	658千円																																																										
	合計	784千円	67千円	484千円	59千円	2,750千円	4,144千円																																																										
・学校経営全体に関わる業務（各種文書の収受発出など情報管理）																																																																	
・教職員人事に関する業務（給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務）																																																																	
・教育活動に直接関係する業務（学校予算、備品、就学援助等に関する業務）																																																																	
・そのほか校内体制に応じて参画する業務 等																																																																	
・消耗品費（コピー用紙、インク 他）		784千円																																																															
・印刷製本費（封筒）		67千円																																																															
・修繕料（印刷機修理、ストーブ修理 等）		484千円																																																															
・役務費（通信運搬費、ごみ処理手数料）		59千円																																																															
・備品購入費（机、椅子、卓上製氷機 他）		2,750千円																																																															
成果・課題		○異なる様式や処理方法を統一し共有することで、学校事務の標準化を進めることができた。 ○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。 ○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。																																																															

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	405千円		484千円	79千円	83.6 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	22 学校適正配置推進事業					0千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	吉野小学校の適正配置に向けた閉校式及び弥栄小学校の拠点校としての準備を図る。									
主要な事務・事業の概要	○閉校式関係		149千円							
	・消耗品費（式典用看板・装飾花等）		149千円							
	○拠点校準備		256千円							
		・手数料（教材備品・管理備品等移設）		256千円						
		※令和6年4月の適正配置に向け、吉野小・弥栄小学校づくり準備協議会を令和5年4月20日に設置。								
				成果・課題	令和6年4月の適正配置に向け、必要な物品等を精査して計画的に段取りしたことで、吉野小学校の閉校式及び弥栄小学校の拠点校としての準備を円滑に実施することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	11,962千円		12,591千円	629千円	95.0 %		課	教育総務課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額			
	事業	50 事務局一般経費				13,764千円				
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金				1,674千円	
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				1,980千円	
目的		教育委員会事務局の円滑な運営のための経費を計上するとともに、全国部活動特別入学選抜による入学生に補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図る。 また、次期京丹後市教育振興計画策定に向けた委員会、部活動の地域移行等に関する各検討会を設置、運営するもの。								
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費		4,993千円		【所管課：学校教育課】					
	・会計年度任用職員任用経費（事務補助員2人）		3,052千円		○地域部活動検討委員会					92千円
	・教育委員会活動点検評価謝金（2人）		40千円		・委員会謝金（3～9人×3回）					80千円
	・交際費、激励金		855千円		・委員視察に係る経費					12千円
	（スポーツ全国大会等出場：4団体、53人）				（令和6年3月23日（土） ホリデークラブ（福知山市）視察 委員3名参加）					
	・出張旅費（教育長、職員等）、消耗品費ほか		1,046千円		○新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会					891千円
	○公用車の維持管理経費		1,191千円		・委員謝金及び費用弁償（7～11人×6回）					
	○各協議会、団体への負担金		153千円		市外委員8人（大学教員、市区町村長経験者、市外企業役員等）					
	○次期教育振興計画策定に向けた経費		202千円		市内委員6人（市内企業役員、学校長、保護者等）					
	・委員謝金及び費用弁償（11人×1回）		77千円		○市立学校PBL型業務改善コンサルティング経費					2,460千円
・アンケート実施経費（印刷製本費、通信費）		125千円		・教職員の働き方改革推進に向けたコンサルティング業務の委託						
対象者2,000人 回答率：37.6%				対象校：峰山中学校						
成果・課題	○高等学校全国募集入学生応援補助金		1,980千円		○高等学校全国募集入学生応援補助金により、地域のスポーツ風土を生かした部活動を応援することで、人材の育成及び地域の活性化に寄与した。					
	・令和3・4年度入学生 月額15千円×12月×6人		1,080千円		○部活動の地域移行を検討するにあたり、本市の部活動の現状、各関係機関の意見、近隣市町の状況を確認することができた。					
	・令和5年度入学生 月額15千円×12月×5人		900千円		○新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会の最終まとめを作成し、教育・人材育成の方向性を示すことができた。 ○教職員の定常業務改善や部活動改革などを実行し、持続可能な働き方改革の推進体制を構築することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	2,936千円		3,026千円	90千円	97.0 %		
	目	02 事務局費					(参考) 繰越予算額	課	教育総務課
	事業	50 事務局一般経費（繰越）					3,026千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	教育委員会事務局の円滑な運営のための経費。								
主要な事務・事業の概要	○役務費		43千円						
	・自動車登録手数料		4千円						
	・自動車リサイクル料		14千円						
	・ETCカード発行手数料		1千円						
	・自賠責保険料		24千円						
	○備品購入費		2,893千円						
	・公用車（1台）		2,893千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	25,486千円		25,750千円	264千円	98.9 %			
	目	03 外国語活動推進費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	01 外国語指導助手招致事業					29,002千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	中学校の英語授業補助、小学校の外国語授業及び外国語活動推進のため、一般財団法人自治体国際化協会のJETプログラムを活用して、外国語指導助手（ALT）を招致・任用する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（外国語指導助手）任用経費（6人）		22,981千円		○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費					455千円
	・報酬 任用初年度： 月額280千円		19,560千円		・住居の更新料、住宅保険等					345千円
	任用2年目： 月額300千円				・備品修繕料等					110千円
	任用3年目： 月額325千円									
	任用4、5年目： 月額330千円				○負担金					1,024千円
	・社会保険料、労災保険料、雇用保険料、共済組合負担金		3,184千円		・来日後オリエンテーション参加費用負担金（1人分）					77千円
	・費用弁償		237千円		・自治体国際化協会負担金					690千円
○外国語指導助手支援員任用経費（1人）		52千円		・来日渡航費用負担金（1人分）					257千円	
出入国時及び生活支援等に係る通訳										
○会計年度任用職員（育休代替）任用経費（2人）		967千円		成果・課題	○日本人の外国語教諭のサポート並びにEnglishCampなどの事業において一役を担っている。また、国際理解教育の促進などALTの果たす役割が期待されており、今後もALTの継続的な確保が必要である。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身の負担軽減などの生活支援の充実が必要である。					
・報酬、費用弁償		830千円								
・社会保険料		137千円								
○外国語指導助手等の旅費		7千円								
・研修旅費等（ALT、職員）										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局								
	項	01 教育総務費	38,964千円		39,049千円	85千円	99.7 %										
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課								
	事業	01 奨学金事業					55,986千円										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金	奨学基金繰入金			768千円								
目的	大学等の高等教育への進学を希望する者で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金の給付及び貸付を行う。 また、大学等を卒業後に就業する者で、本市に定住し、奨学金の返還を行う者に対する定住促進奨学金支援を行い、将来を担う若者のふるさと回帰と地域の活性化を図る。				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			25,000千円								
				繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金			7,008千円									
主要な事務・事業の概要	○奨学金選考・検討委員会に係る経費			51千円	○定住促進奨学金返還支援制度			31,137千円									
				・報酬（委員5人×4千円×2回）				40千円	・広報チラシ印刷製本費（12,000枚）	43千円							
				・費用弁償				11千円	・大学等へのチラシ送料（536校）	51千円							
	○奨学金給付金			768千円	＜参考＞認定者数			<table><tr><td></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>認定者数</td><td>136人</td><td>61人</td><td>46人</td></tr></table>			R3年度	R4年度	R5年度	認定者数	136人	61人	46人
										R3年度	R4年度	R5年度					
				認定者数						136人	61人	46人					
	・市民税非課税世帯 月額12千円×12月×2人（前・後期）	288千円															
	・市民税所得割非課税世帯 月額10千円×12月×4人（前・後期）	480千円															
	○奨学金貸付金			7,008千円	成果・課題			○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、大学等への周知やチラシの配布等を行い、本事業を通じた定住促進に努めた。									
				・修学支援金（8人）						3,508千円							
大学生等 1,000千円×2人 300千円×1人 280千円×1人 232千円×4人																	
・入学支度金（5人）			3,500千円														
			大学等入学予定者 700千円×5人														

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費	827千円		827千円	0千円	100.0 %														
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課												
	事業	02 奨学基金					12千円														
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源 財産収入 奨学基金利子収入 42千円 諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分 785千円																
目的			経済的理由により大学等での修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的に、奨学基金へ積み立てるもの。																		
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金				827千円																
	・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分				785千円																
	・利子分				42千円																
	(単位：千円)																				
	<table><tr><td rowspan="2">令和4年度末 現在高 ①</td><td colspan="3">令和5年度中増減額</td><td rowspan="2">令和5年度末 現在高 ①-②+③+④</td></tr><tr><td>繰入金 ②</td><td>運用利子 ③</td><td>積立金 ④</td></tr><tr><td>136,318</td><td>768</td><td>42</td><td>785</td><td>136,377</td></tr></table>				令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高 ①-②+③+④	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	136,318	768	42	785	136,377				
令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高 ①-②+③+④																	
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																		
136,318	768	42	785	136,377																	
(充当：1事業)																					
・奨学金事業				768千円																	
				成果・課題																	

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	01 教育総務費	3,183千円		3,183千円	0千円	100.0 %						
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課				
	事業	03 谷口謙・未来応援基金					2,580千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 谷口謙・未来応援基金利子収入 27千円									
目的		経済的理由により大学等での修学が困難なものに対し、奨学金を貸し付けることを目的に、谷口謙・未来応援基金へ積み立てるもの。		諸収入 奨学資金貸付償還金 3,156千円									
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金		3,183千円										
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分		3,156千円										
	・利子分		27千円										
			(単位：千円)										
令和4年度末 現在高		令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高								
①		繰入金	運用利子	積立金	①-②+③+④								
68,782		7,008	27	3,156	64,957								
(充当：1事業)													
・奨学金事業		7,008千円											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	167,503千円		173,090千円	5,587千円	96.7 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額		
	事業	02 小学校管理運営事業						171,246千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入 小学校施設光熱水費利用負担金 37千円					
目的	小学校17校を管理運営し、児童及び教職員により良い教育環境を提供する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員13人）		38,799千円		○使用料及び賃借料 3,274千円				
	・報酬		27,145千円		・テレビ受信料、ガス警報器使用料 250千円				
	・期末手当		5,404千円		・コピー機借上料、印刷機借上料 3,024千円				
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料等）		4,810千円		（うち、コピー機16台中10台を更新）				
	・費用弁償		1,440千円						
	○需用費		112,948千円		○備品購入費 5,517千円				
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		28,753千円		・児童用椅子（118脚）、電話機更新（6校）、暖房器具（5台）ほか				
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		410千円		○負担金、補助及び交付金 609千円				
	・電気代		61,304千円		京都府小学校校長会負担金、京都府連合小学校教頭会負担金、				
	・水道料		22,356千円		京都府小学校教務主任会負担金、京都府小学校教育研究会負担金、				
	・修繕費（印刷機等の修繕）		125千円		京都府へき地・小規模校教育研究会負担金等				
	○役務費		5,518千円		成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○老朽化したコピー機を更新し、校務の効率化を推進した。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。			
	・電話代、郵送料		4,060千円						
	・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）、リサイクル料		1,458千円						
	○委託料		838千円						
・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料、情報通信機器保守等									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	302,291千円		321,381千円	19,090千円	94.0 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業					285,840千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				43,195千円
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（17校）施設の改修工事等を行う。			市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）				44,600千円
				市債	小学校施設整備事業債（過疎債）				200,800千円
				市債	小学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）				2,500千円
主要な事務・事業の概要	○丹後小学校トイレ洋式化工事		12,218千円		○その他改修等工事		12,352千円		
	・工事修正設計委託料		1,078千円		・網野北小学校ことばの教室エアコン更新工事		538千円		
	・工事請負費		11,140千円		・橘小学校給食配膳室エアコン設置工事		284千円		
					・各小学校施設改修工事ほか9件		11,530千円		
	○大宮第一小学校教室棟空調改修工事		152,076千円		○令和6年度工事に向けた設計業務委託		3,347千円		
	・工事設計・監理委託料		1,327千円		・久美浜・かぶと山・高龍小学校体育館LED化工事設計		2,594千円		
	・工事請負費		150,749千円		・丹後小学校通級指導室空調設備改修工事実施設計		753千円		
	○峰山小学校グラウンド擁壁改修事業		60,050千円		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		302,381千円	
	・工事設計・監理委託料		4,022千円			実質的な予算執行率		99.9%	
	・工事請負費（府道側）		52,633千円		■令和6年度への繰越事業		19,000千円		
	・架空配電線移設補償 ほか		3,395千円		いさなご小学校階段昇降機設置工事費等		令和7年2月完了予定		
成果・課題	○いさなご小学校視聴覚室及び図書室等改修工事		62,248千円		成果・課題	○峰山小学校擁壁改修、大宮第一小学校教室棟空調化、丹後小学校のトイレ洋式化工事を行うなどの施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。			
	・工事監理委託料		3,248千円						
	・工事請負費		59,000千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,010千円		1,010千円	0千円	100.0 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業（繰越）					1,010千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	市債 小学校施設整備事業債（合併特例債） 900千円					
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（17校）施設の改修工事等を行う。								
主要な事務・事業の概要	○いさなご小学校視聴覚室改修工事設計業務 ・工事設計委託料 ※契約期間：R5.3.7～R5.5.19		1,010千円 1,010千円						
					成果・課題	いさなご小学校視聴覚室改修工事設計を行い、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	8,091千円		8,304千円	213千円	97.4 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 児童教職員健康管理事業					9,878千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 7素による子どものむし歯予防事業費補助金 187千円					
目的	学校における児童及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、児童教職員の健康診断、保健衛生、その他の保健・安全に関する事業を行うとともに、関連機器等を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○保健衛生用品、医薬材料 1,091千円 （うち感染症対策に要した消耗品等 356千円）		【児童検診内訳】 尿検査委託料（春） 2,349人 2次 22人 尿検査委託料（秋） 1次 2,347人 2次 22人 心臓検診委託料 1次 800人（1・4年、経過観察者） 2次 84人 眼科検診委託料 2,343人 耳鼻科検診委託料 2,346人 脊柱側わん症検診委託料 1次 22人（校医抽出者） 結核検診料 1人						
	○フッ化物洗口用品 471千円 ・消耗品、医薬材料 ○緊急時対応経費 1,083千円 ・AED借上料（全17校各1台設置） 1,080千円 ・緊急時児童移送（借上料） 3千円 ○検診医用保健衛生用品 196千円 ・衛生消耗品 （マスク、手指消毒液、ガウン、ゴム手袋等） ○児童・教職員各種健診 5,250千円 ・児童検診委託料 3,815千円 ・教職員健康診断委託料 1,003千円 （一般検査、胃部検査、ストレス検査） ・教職員結核検診委託料 218千円 ・医師送迎用経費（借上料） 36千円 ・色覚検査表（全17校各1冊更新） 178千円		成果・課題	○令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へと移行されたが、引き続き、感染防止対策や各種健康診断を実施するなど、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、感染が広がりにくい環境整備に取り組むことができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	4,220千円		6,706千円	2,486千円	62.9 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	学校教育課
	事業	04 児童教職員健康管理事業（繰越）					6,706千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 学校保健特別対策事業費補助金（1/2） 2,110千円					
目的	新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中、児童の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するために必要な体制整備を促進する。								
主要な事務・事業の概要	○需用費 630千円 ・修繕料 （感染症対策に要した修繕：網戸設置）								
	○備品購入費 3,590千円 ・備品購入費 （感染症対策に要した備品：サーキュレーター、Co2モニター等）								
			成果・課題	新型コロナウイルスについては第5類感染症へと移行されたが、文部科学省の学校保健特別対策事業費補助金（学校等における感染症対策等支援事業）を活用し、引き続き児童の安全・安心な学習環境を確保したうえで、教育活動を着実に継続することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 小学校費	91,141千円		91,421千円	280千円	99.6 %						
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課				
	事業	05 小学校スクールバス運行管理事業					83,293千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	へき地児童援助費補助金			3,750千円					
				国補	学校安全特別対策事業費補助金			88千円					
				市債	小学校スクールバス整備事業債（過疎債）			4,600千円					
目的		遠距離通学及び特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを定期運行する。											
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料				74,603千円		○車庫、待合所及びバス停維持管理経費				10千円		
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託						・火災保険料、土地借上料（15.66㎡）						
	いさなご小	3台	橘小	小	1台	久美浜小	1台	○運転手適性診断に係る経費				80千円	
	しんざん小	1台	島津小	小	1台	高龍小	4台						
	大宮南小	3台	丹後小	小	4台	かぶと山小	4台						
	網野北小	1台	宇川小	小	1台	計	30台						
	網野南小	3台	弥栄小	小	3台								
					(令和6年3月末時点)								
	○車両維持管理経費				8,037千円								
	・修繕料、燃料費、消火器更新												
○新規スクールバス購入（吉野小学校適正配置）				8,411千円		成果・課題				○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○65歳以上の運転手に対し、運転手適性診断の受講を義務付け、交通事故の抑制を図った。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。			
・備品購入費（安全装置含む） 1台（29人乗）				8,360千円									
・登録手数料、保険料、重量税等				51千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	5,295千円		8,691千円	3,396千円	60.9 %			
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	学校教育課	
	事業	05 小学校スクールバス運行管理事業（繰越）					8,691千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校安全特別対策事業費補助金				1,985千円	
				市債	小学校スクールバス整備事業債（過疎債）				3,200千円	
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを運行する。また、児童送迎時のより一層の安全運行を図るため、小学校スクールバスへ置き去り防止安全装置を設置する。									
主要な事務・事業の概要	○新規スクールバス購入（磯地区通学支援）		3,310千円							
	・備品購入費 1台（8人乗）		3,245千円							
		・登録手数料、保険料、重量税等		65千円						
		○置き去り防止安全装置設置		1,985千円						
		・備品購入費（30台）		1,985千円						
						</				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	02 小学校費	263千円		267千円	4千円	98.5 %														
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課												
	事業	06 小学校通学支援事業					267千円														
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																	
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図るため、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給する。																				
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金		263千円																		
	<table><tr><td>学校名</td><td>対象児童数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>大宮南小学校</td><td>6人</td><td>89千円</td></tr><tr><td>宇川小学校</td><td>11人</td><td>174千円</td></tr><tr><td>計</td><td>17人</td><td>263千円</td></tr></table>		学校名	対象児童数						補助金額	大宮南小学校	6人	89千円	宇川小学校	11人	174千円	計	17人	263千円		
	学校名	対象児童数	補助金額																		
	大宮南小学校	6人	89千円																		
	宇川小学校	11人	174千円																		
計	17人	263千円																			
				成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	24,922千円		25,642千円	720千円	97.1 %			
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額			
	事業	07 小学校施設管理事業						25,597千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	使用料	公有財産使用料				8千円	
目的		児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（17校）施設の維持管理を行う。								
主要な事務・事業の概要	○施設修繕用消耗品費 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル		432千円	○施設用地借上料 ・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）						150千円
	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕他		9,688千円	○施設修繕用原材料費 ・修繕用木材等						40千円
	○各種検査等手数料 ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、漏水調査手数料		442千円	○網野北小学校運動場芝生維持管理経費 ・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 芝生目土作業委託料						1,207千円
	○建物火災保険料		1,181千円							
	○施設保守管理等委託料（14業務） ・電気設備保守管理、エレベーター保守点検、デマンド監視、学校警備 給食施設消毒等業務、給排水設備保守点検、貯水槽等保守点検 浄化槽維持管理、グリストラップ処理、消防設備等保守点検 プール循環点検、給食用リフト保守点検、空調設備保守点検、雑木伐採		11,782千円	成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	52,802千円		56,992千円	4,190千円	92.6 %			
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	01 小学校教育振興事業					59,089千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	児童の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど児童の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れ、教育内容の充実を図る。									
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業写真、卒業記念品 （入学児童390人分、卒業児童385人分）		1,290千円		○校外学習活動					5,670千円
	○学力検査（全校・各学年）		1,458千円		消耗品、バス運転委託料、自動車借上料、 有料道路通行料、駐車場使用料、 燃料費、講師費用弁償					
主要な事務・事業の概要	○学習教材、教材消耗品等		44,381千円		○第9回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会参加費					3千円
	・学習教材消耗品		9,359千円		開催日：令和5年10月28日（土） 開催場所：全但バス但馬ドーム周辺駅伝コース（豊岡市日高町） 出場校：しんざん小学校 1校（1チーム6人出場）					
主要な事務・事業の概要	・学習教材冊子「わたしたちの きょうたんご」 （3年生用 440冊）		280千円							
	・キャリアパスポート（ファイル購入）400冊		62千円							
主要な事務・事業の概要	・令和6年度小学校教師用教科書・指導書		34,528千円							
	・著作物使用料		152千円							
主要な事務・事業の概要	教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、児童のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費				成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	9,398千円		10,239千円	841千円	91.7 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業					9,220千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2） 592千円					
				寄附金 ふるさと応援寄附金 200千円					
目的	児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の充実を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。								
主要な事務・事業の概要	○教材備品及び図書購入		7,610千円						
	・教材備品整備		4,282千円						
	・学校図書整備		3,328千円						
	（うち、ふるさと応援寄附金充当（丹後・宇川小学校）計200千円）								
	○理科等振興備品購入		1,331千円						
	・理科、算数備品整備								
	○教材備品修繕費（糸のこ、ミシンほか）		235千円						
○学校図書館図書管理システム使用料		168千円		成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。				
○教材用家電リサイクル料		11千円							
（網野北、弥栄小学校：洗濯機リサイクル）									
○教材備品処分費		43千円							
（かぶと山小学校：オルガン処分）									

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	02 小学校費	19,243千円		19,708千円	465千円	97.6 %					
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課			
	事業	03 小学校就学援助事業				24,006千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）			88千円				
				国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）			1,021千円				
目的		経済的理由によって就学困難な児童の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。										
主要な事務・事業の概要	○就学援助費		17,121千円		○特別支援教育就学奨励費						2,094千円	
	・要保護認定者 16人（R4：11人）		177千円		・認定者 78人（R4：61人）							
	修学旅行費 91千円				学用品費等 874千円							
	医療費 86千円				給食費 1,008千円							
	・準要保護認定者 230人（R4：240人）		15,592千円		修学旅行費 183千円							
	学用品費等 4,010千円				通学費（交通費） 29千円 ※対象者数 7人							
	給食費 8,706千円											
	修学旅行費 1,198千円											
	医療費 53千円											
	オンライン学習通信費 1,625千円											
※申請者数 283人（R4：282人） 認定者数 246人（R4：251人）												
・令和6年度新入学児童学用品費入学前支給分		1,352千円										
支給者数 25人 ※令和6年2月16日支給												
○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出		28千円										
・貸出者数 5人												
成果・課題				○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、障害のある児童生徒の通学費を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	73,907千円		75,677千円	1,770千円	97.6 %		課	学校教育課
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額			
	事業	04 小学校スクールサポーター等設置事業					86,210千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スクールサポーター等設置事業） 37,210千円					
目的	児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するため、スクールサポーター（介護職員）を配置するとともに、教育活動の推進と学校経営の安定を図るため、教員資格のあるスクールサポーター（講師）を配置する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（32人） 73,893千円				配置一覧					
	・報酬 50,683千円				学校名 介護 講師 学校名 介護 講師					
	・期末手当 9,901千円				峰山小 5人 - 橘小 1人 -					
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 11,385千円				いさなご小 1人 - 丹後小 1人 -					
	・費用弁償 1,924千円				しんざん小 1人 - 宇川小 0人 1人					
	＜スクールサポーター内訳＞				大宮第一小 4人 1人 弥栄小 1人 -					
	・介護職員 30人（1日7時間、週5日勤務）				大宮南小 2人 - 吉野小 1人 -					
	・講師 2人（1日7時間、週5日勤務）				網野北小 2人 - 久美浜小 2人 -					
	○事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金等） 14千円				網野南小 3人 - 高龍小 3人 -					
					島津小 2人 - かぶと山 1人 -					
				計 30人 2人						
				成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府へ要請する。あわせて不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置にも努めていく必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,741千円		1,994千円	253千円	87.3 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 小学校丹後学等教育活動実践事業					1,994千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業（講師謝金等） ・丹後学、総合的な学習活動推進事業（全小学校で実施） ・峰山地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、校外学習 等 ・大宮地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、校外学習 等 ・網野地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・丹後地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、伝承料理体験、校外学習 等 ・弥栄地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験 等 ・久美浜地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等		1,226千円	○教育研究事業負担金 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施 146千円					
				○修学旅行引率補助金 17校、引率教員63人 369千円					
				成果・課題	○地元地域の特産品や、稲作づくりを体験することで、地域への理解と愛着を深めることができた。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	66,492千円		69,651千円	3,159千円	95.4 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 中学校管理運営事業					73,037千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入 中学校施設光熱水費利用負担金 3千円					
目的		中学校6校を管理運営し、生徒及び教職員により良い教育環境を提供する。							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員6人）		10,204千円		○使用料及び賃借料 567千円				
	・報酬		7,170千円		・テレビ受信料、ガス警報器使用料 89千円				
	・期末手当		1,368千円		・コピー機借上料、印刷機借上料 478千円				
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		1,155千円		（うち、コピー機4台中1台を更新）				
	・費用弁償		511千円		○備品購入費 632千円				
	○需用費		51,268千円		・暖房器具（1台）、朝礼台（1台）ほか				
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		13,063千円		○負担金、補助及び交付金 1,050千円				
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		137千円		京都府中学校校長会負担金、京都府中学校教頭会負担金、				
	・電気代		29,691千円		京都府中学校教務主任会負担金、京都府中学校教育研究会負担金、				
	・水道料		8,354千円		京丹後市中学校体育連盟負担金、京都府学校図書館協議会負担金等				
・修繕費（印刷機等の修繕）		23千円							
○役務費		2,722千円		成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。				
・電話代、郵送料		2,019千円							
・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		703千円							
○委託料（理科薬品廃棄処分）		49千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	222,732千円		222,909千円	177千円	99.9 %			
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	03 中学校施設改修事業					350,600千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				65,121千円	
				市債	中学校施設整備事業債（合併特例債）				143,700千円	
目的	生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校（6校）施設の改修工事等を行う。									
主要な事務・事業の概要	○丹後・久美浜中学校トイレ改修工事			43,202千円	○令和6年度工事に向けた業務委託					4,543千円
	・工事監理委託料			2,792千円	・峰山・大宮・網野中学校トイレ改修工事実施設計業務委託					
	・工事請負費			40,410千円	○旧網野高校間人分校体育館使用に伴う光熱水費					16千円
	○中学校体育館LED化工事（6校）			168,584千円	丹後中学校体育館LED化改修工事により体育館が使用できない期間に、旧網野高校間人分校体育館を借用する必要があるため。					
	・工事監理委託料			2,374千円						
	・工事請負費			166,210千円						
	○その他改修等工事			6,387千円						
	・丹後中学校調理室エアコン更新工事			869千円						
	・久美浜中学校会議室空調設備改修工事			2,035千円						
	・大宮中学校給食調理室給水管改修工事			1,225千円						
	・大宮中学校自転車小屋改修工事			341千円						
	・久美浜中学校教職員用トイレ配管修繕工事			372千円						
	・網野中学校グラウンドフェンス修繕工事			593千円						
	・弥栄中学校給水管修繕工事			715千円						
	・久美浜中学校渡り廊下屋根修繕工事			237千円						
					成果・課題	○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	5,175千円		5,262千円	87千円	98.3 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 生徒教職員健康管理事業					6,609千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	学校における生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、生徒教職員の健康診断、保健衛生、その他の保健、安全に関する事業を行うとともに、関連機器等を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○保健衛生用品、医薬材料 （うち感染症対策に要した消耗品 115千円）		611千円	【児童検診内訳】 尿検査委託料（春）1次 1,193人 2次 41人 尿検査委託料（秋）1次 1,191人 2次 28人 心臓検診委託料 1次 373人（1年、経過観察者） 2次 52人 眼科検診委託料 1,182人 耳鼻科検診委託料 1,174人 血液検査委託料 386人（2年、経過観察者） 脊柱側わん症検診委託料 15人（校医抽出者）					
	○緊急時対応経費 ・AED借上料（全6校各2台設置）		762千円						
	○検診医用保健衛生用品 ・衛生消耗品 （マスク、手指消毒液、ガウン、ゴム手袋等）		115千円						
	○生徒・教職員各種健診 ・生徒検診委託料 ・教職員健康診断委託料 （一般検査、胃部検査、ストレス検査）		3,687千円 2,899千円 584千円	成果・課題	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へと移行されたが、引き続き、感染防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、感染が広がりにくい環境整備に取り組むことができた。				
	・教職員結核検診委託料		127千円						
	・医師送迎用経費（借上料）		14千円						
	・色覚検査表（全6校各1冊更新）		63千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	2,261千円		3,205千円	944千円	70.5 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)繰越予算額	課	学校教育課
	事業	04 生徒教職員健康管理事業（繰越）					3,205千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 学校保健特別対策事業費補助金（1/2） 1,130千円					
目的	新型コロナウイルスの感染流行が長期化する中、生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ、教育活動を着実に継続するために必要な体制整備を促進する。								
主要な事務・事業の概要	○需用費 1,150千円 ・修繕料 （感染症対策に要した修繕：網戸設置）								
	○備品購入費 1,111千円 ・備品購入費 （感染症対策に要した備品：空気清浄機、ハイブリッド式加湿器ほか）								
			成果・課題	新型コロナウイルスについては第5類感染症へと移行されたが、文部科学省の学校保健特別対策事業費補助金（学校等における感染症対策等支援事業）を活用し、引き続き生徒の安全・安心な学習環境を確保したうえで、教育活動を着実に継続することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	61,145千円		61,621千円	476千円	99.2 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 中学校スクールバス運行管理事業					64,348千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		遠距離通学及び特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを定期運行する。							
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料		52,802千円						
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託								
	峰 山 中 学 校	1台							
	大 宮 中 学 校	(1台)							
	網 野 中 学 校	3台							
丹 後 中 学 校	2台								
弥 栄 中 学 校	1台								
久 美 浜 中 学 校	9台								
計	16台 (17台)								
※大宮中の車両は、大宮南小スクールバスの大宮中学生対象分									
○車両維持管理経費		8,340千円							
・消耗品費、修繕料、燃料費									
○車庫・バス停維持管理経費		3千円							
・火災保険料									
				成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																						
	項	03 中学校費	164千円		176千円	12千円	93.1 %																								
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																						
	事業	06 中学校通学支援事業					176千円																								
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																											
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																														
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）		164千円																												
	<table><tr><td>学校名</td><td>対象生徒数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰 山 中 学 校</td><td>77人</td><td>77千円</td></tr><tr><td>大 宮 中 学 校</td><td>34人</td><td>34千円</td></tr><tr><td>網 野 中 学 校</td><td>16人</td><td>16千円</td></tr><tr><td>丹 後 中 学 校</td><td>11人</td><td>11千円</td></tr><tr><td>弥 栄 中 学 校</td><td>25人</td><td>25千円</td></tr><tr><td>久 美 浜 中 学 校</td><td>1人</td><td>1千円</td></tr><tr><td>計</td><td>164人</td><td>164千円</td></tr></table>		学校名	対象生徒数						補助金額	峰 山 中 学 校	77人	77千円	大 宮 中 学 校	34人	34千円	網 野 中 学 校	16人	16千円	丹 後 中 学 校	11人	11千円	弥 栄 中 学 校	25人	25千円	久 美 浜 中 学 校	1人	1千円	計	164人	164千円
	学校名	対象生徒数	補助金額																												
	峰 山 中 学 校	77人	77千円																												
	大 宮 中 学 校	34人	34千円																												
	網 野 中 学 校	16人	16千円																												
	丹 後 中 学 校	11人	11千円																												
	弥 栄 中 学 校	25人	25千円																												
	久 美 浜 中 学 校	1人	1千円																												
	計	164人	164千円																												

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	9,925千円		10,172千円	247千円	97.5 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	07 中学校施設管理事業					10,287千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	使用料 公有財産使用料 7千円				
目的		生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校（6校）施設の維持管理を行う。							
主要な事務・事業の概要	○施設修繕用消耗品費 177千円 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル等				○施設用地借上料 1,454千円 ・弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡）				
	○施設等修繕費 3,615千円 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕				○施設修繕用原材料費 46千円 ・補修用木材等				
	○各種検査、手数料 33千円 ・貯水槽法定検査								
	○建物火災保険料 635千円								
	○施設保守管理等委託料（12業務） 3,965千円 ・電気設備保守管理、デマンド監視業務、貯水槽保守点検、空調設備清掃、空調設備保守点検、グリストラップ処理、消防設備等保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、給食用リフト保守点検、雑木伐採、水質検査				成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	24,127千円		24,623千円	496千円	97.9 %			
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	01 中学校教育振興事業					25,101千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	生徒の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど生徒の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れるとともに、体育大会への参加や部活動等を支援し、教育内容の充実を図る。									
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業記念品 （入学生徒363人分、卒業生徒439人分）		1,308千円		○校外学習、部活動 14,053千円					
	○学習指導等 ・学力検査（全校・各学年）		2,215千円		・バス運転委託料 10,589千円					
主要な事務・事業の概要	○学習教材、教材消耗品等		6,551千円		・楽器運搬手数料（ティンパニ、チューバほか） 86千円					
	・学習教材消耗品		5,692千円		（第60回京都府吹奏楽コンクール） 出 場 日：令和5年8月2日（水） 会 場：京都コンサートホール 大ホール					
	・学習教材冊子「京丹後市地域学習副読本」1,350冊		742千円		出 場 校：峰山中学校、大宮中学校					
	・著作物使用料		117千円		・体育大会等選手派遣費補助金 3,378千円					
		教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、生徒のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	7,336千円		7,922千円	586千円	92.6 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業					8,238千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金（1/2）				296千円
				寄附金	ふるさと応援寄附金				300千円
目的	生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の拡充を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。								
主要な事務・事業の概要	○教材備品及び図書購入		6,180千円						
	・教材備品整備		2,863千円						
	・学校図書整備		1,448千円						
	（うち、ふるさと応援寄附金充当（丹後中学校）300千円）								
	・音楽備品		1,869千円						
	（チューバ、バスクラリネット、トランペットほか）								
	○理科振興備品購入		707千円						
・理科教育に要する学習教材									
○教材備品修繕費（ミシン、楽器ほか）		60千円							
○楽器メンテナンス料（峰山、網野、弥栄中学校分）		330千円							
○学校図書館図書管理システム使用料		59千円							
				成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	03 中学校費	20,001千円		20,297千円	296千円	98.5 %																		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																
	事業	03 中学校就学援助事業					21,265千円																		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）			64千円																
					国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）			721千円																
目的		経済的理由によって就学困難な生徒の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。																							
主要な事務・事業の概要	○就学援助費		18,325千円		○特別支援教育就学奨励費					1,653千円															
	・要保護認定者 7人（R4：12人）		128千円		・認定者 33人（R4：27人）																				
	修学旅行費		128千円		学用品費等					588千円															
	・準要保護認定者 135人（R4：129人）		15,074千円		給食費					518千円															
	学用品費等		5,741千円		修学旅行費					354千円															
	給食費		4,697千円		通学費（交通費）					193千円 ※対象者数 3人															
	修学旅行費		3,052千円																						
	オンライン学習通信費		1,584千円		＜参考＞ 認定者数																				
	・準要保護認定者（被災児童） 2人（R4：2人）		225千円		<table><tr><td>年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>就学援助費</td><td>136人</td><td>148人</td><td>141人</td><td>142人</td></tr><tr><td>就学奨励費</td><td>23人</td><td>29人</td><td>27人</td><td>33人</td></tr></table>					年度	R2	R3	R4	R5	就学援助費	136人	148人	141人	142人	就学奨励費	23人	29人	27人	33人	
	年度	R2	R3	R4	R5																				
就学援助費	136人	148人	141人	142人																					
就学奨励費	23人	29人	27人	33人																					
給食費		69千円																							
※申請者数 157人（R4：152人） 認定者数 142人（R4：141人）																									
・令和6年度新入学生徒学用品費入学前支給分		2,898千円		成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、障害のある児童生徒の通学費を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。																				
支給者数 46人 ※令和6年2月16日支給																									
○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出		23千円																							
・貸出者数 3人																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	03 中学校費	45,085千円		45,660千円	575千円	98.7 %					
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額					
	事業	04 中学校スクールサポーター等設置事業						47,932千円	課	学校教育課		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実										
目的	生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するとともに保幼小中一貫教育の推進を図るため、スクールサポーターを配置する。 また、生徒のための心の相談員や部活動指導員、適正配置による通学バス等の事務の増加に対応するための事務職員をスクールサポーターとして配置する。		主な財源	府補	部活動指導員配置促進事業補助金（2/3）				2,539千円			
	府補	きょうと地域連携交付金（スクールサポーター等設置事業）				20,500千円						
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（27人） 45,085千円											
	・報酬 31,906千円											
	・期末手当 5,432千円											
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 5,840千円											
	・費用弁償 1,907千円											
	＜スクールサポーター内訳＞											
	・介護職員 5人（1日7時間、週5日勤務）											
	・講師（小中一貫コーディネーター） 6人（1日7時間45分、週4日勤務）											
	・心の教室相談員 3人（1日7時間、週5日勤務）											
	・部活動指導員 12人（1日1時間、年間330時間勤務）											
・事務補助員 1人（1日6時間、週5日勤務）												
成果・課題	配置一覧											
	学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員						
							峰山中学校	1人	1人	3人	2人	-
							大宮中学校	1人	1人		2人	-
							網野中学校	2人	1人		2人	-
							丹後中学校	-	1人		2人	-
							弥栄中学校	1人	1人		2人	-
							久美浜中学校	-	1人		2人	1人
							計	5人	6人	3人	12人	1人
							○必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府へ要請する。あわせて不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	1,386千円		1,577千円	191千円	87.8 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額		
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業						1,376千円	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 子どもの教育のための総合交付金（10/10） 400千円				
目的	府の研究指定を受け、教員の指導力向上等に取り組むとともに、地域学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の経費を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業 512千円 ・着付け体験学習（クリーニング代金、講師謝金 等） 203千円 参加者：453人 ・丹後学、総合的な学習活動 309千円 市単独事業、全中学校で実施（講話学習、職場体験 等） ○教育実践研究指定事業（消耗品費、バス運転委託料） 400千円 ・未来を拓く学校づくり推進事業 200千円 実施校：網野学園 ※府補助事業（補助率10/10） 実施年度：令和4年度～6年度（3か年） ・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円 実施校：丹後中学校 ※府補助事業（補助率10/10） 実施年度：令和4年度～6年度（3か年）				○教育研究事業負担金 83千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。 ○修学旅行引率補助金 391千円 6校、引率教員51人				
	成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、丹後学の推進につながった。 ○府の研究指定を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	383千円		503千円	120千円	76.1 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額		
	事業	02 社会教育委員設置事業					503千円	課	生涯学習課
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実							
目的	社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うとともに、地域の諸課題や市民の要望を反映した社会教育事業を展開するため、社会教育委員を設置する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	社会教育委員会議（市内の視察も含む）を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。								
	○委員報酬（委員：15人、報酬対象：12人） 252千円 ・社会教育委員会議出席報酬（3回） 140千円 ・その他会議出席報酬（府総会、近畿大会等） 112千円 ○旅費（委員費用弁償、事務局普通旅費） 44千円 ○負担金、補助及び交付金 65千円 ・丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金 56千円 ・京都府社会教育委員連絡協議会分担金 9千円 ○その他（消耗品費、駐車場使用料、有料道路通行料） 22千円								
				成果・課題	社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、また、研修の機会を通して得た内容とともに、市民の意向を反映した社会教育行政の推進に寄与することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	3,593千円		3,644千円	51千円	98.6 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 社会教育総務一般経費					3,533千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	会計年度任用職員の配置等、社会教育事業全般に関する事務局経費								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（社会教育指導員1人） （配置先：生涯学習課）		3,221千円						
	・報酬		2,222千円						
	・職員手当		401千円						
	・共済費		437千円						
	・旅費		161千円						
	○各種研修会への参加		2千円						
	・旅費（普通旅費）								
	○事務費		9千円						
	・需用費（消耗品費）								
	○京丹後市連合婦人会活動補助金		361千円		成果・課題	○社会教育指導員の配置により、各種社会教育事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。			
・活動内容：講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,012千円		1,079千円	67千円	93.7 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	01 はたちを祝う式典開催事業						1,079千円	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	はたちを迎えた一人ひとりが、夢と希望をもって自立的に未来を切り開き活躍することを願うとともに、郷土への愛着を醸成することを目的に、記念式典を開催する。								
主要な事務・事業の概要	○報償費 659千円 ・報償費（記念アトラクション謝金） ・報償物品（記念写真、記念品） ○需用費 32千円 ・消耗品費(パネル設置台等)、燃料費 ○通信運搬費 3千円 ・返信用ハガキ（来賓用） ○手数料 2千円 ・クリーニング手数料 ○委託料 82千円 ・ビデオ撮影・編集委託料（式典中継配信） ○使用料及び賃借料（会場借上料等） 234千円				〈京丹後市はたちを祝う式典 開催概要〉 ・日 時 令和6年3月17日（日）午後2時00分～午後3時40分 ・会 場 京都府丹後文化会館 ・対 象 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業生537人（男286人、女251人） ・出席者 455人（男243人、女212人）（出席率84.7%） ・内 容 式 典：式辞、祝辞、はたちの主張、恩師からのメッセージ等、記念撮影 記念行事：動画クリエイターによる、お祝いパネル＆メッセージ 企画委員：司会、アトラクションの企画運営（バンド演奏）				
					成果・課題	○成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、本市では高校卒業後一定の社会経験を積んだタイミングで家族や旧友、地域社会とのつながりをより感じることができる20歳を対象に「はたちを祝う式典」として開催した。 ○式典対象者の中から企画委員を募り、式典内容について企画委員が企画・意見を出し合い、その内容を式典に反映することで、充実した「はたちを祝う式典」を開催することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,129千円		1,241千円	112千円	90.9 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	02 青少年教育事業					1,501千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○少年少女児童合唱団補助金（3団体） 209千円 音楽を通して子どもたちの自分を表現する力や社会性、豊かな心を育む活動を行う団体に対し、補助金を交付 大宮児童合唱団、網野少年少女合唱団、久美浜児童合唱団 ※補助金の額：補助対象経費の1/2以内、1団体上限200千円 ※大宮：69千円、網野32千円、久美浜108千円 ○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円 青少年の体験活動やあいさつ運動など、青少年の健全育成に資する取組を実施する組織に対し、補助金を交付 ○地域子ども教室補助金（4団体×130千円） 520千円 地域の中に子どもたちの居場所を確保するとともに、さまざまな体験活動、住民との交流活動等地域全体で子どもを守り育てる活動を行う教室に対し、補助金を交付 ・対象学年：小学1年生～6年生 ・対象地域：ブーフ・まむ（大宮町善王寺区） 新山ひこばえの集い（峰山町荒山区） 久美浜二区子ども広場（久美浜町二区） チャレンジ教室（久美浜町神野地区）				成果・課題	○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費				本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局								
	項	04 社会教育費				2,448千円		2,566千円		118千円		95.4 %			課	生涯学習課							
	目	02 社会教育推進費										(参考)当初予算額											
	事業	03 高齢者教育事業										2,809千円											
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実				主な財源	府補		きょうと地域連携交付金（高齢者教育事業）						800千円								
							諸収入		社会事業等参加料						645千円								
目的		高齢者の社会参加を促進し、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進するため、高齢者の学習と交流の機会を提供する。																					
主要な事務・事業の概要	■高齢者大学																						
	・登録者数 464人（令和6年3月31日現在）																						
	・実施地域 各町域（各地域公民館主管）																						
	・事業の概要																						
	【一般講座及び教養講座】																						
	学園							一般講座							教養講座								
								回数		延べ参加者数		延べ回数		延べ参加者数		講座数		内 容					
	峰山							8回		347人		124回		1,289人		11講座		ちぎり絵、陶芸、他		○報償費（講師謝金、出演謝礼品） 1,596千円			
	大宮							8回		280人		34回		446人		6講座		書道、ピラティス、他		○旅費（費用弁償、旅費） 24千円			
	網野							8回		541人		162回		2,116人		12講座		水彩画、習字、他		○需用費（消耗品費、燃料費） 181千円			
	丹後							8回		163人		43回		347人		8講座		生花、スローエアロビック、他		○委託料（バス運転委託料） 421千円			
	弥栄							7回		179人		52回		509人		7講座		スマホ、絵手紙、他		○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等） 226千円			
久美浜							8回		210人		59回		572人		8講座		古典文学、唱歌、他						
合計							47回		1,720人		474回		5,279人		52講座								
※合同講座を含む																							
【百才活力学園】3講座（上記、一般講座に含む） 118人																							
・峰山、大宮、弥栄学園にて講演、健康体操等を開催																							
							成果・課題		○生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○受講者数減少・内容の硬直化等の課題がある高齢者大学の在り方についてアンケートを実施し、参加者のニーズ等を把握した。 ○特に新規の参加者の増加に努めるとともに、より一層高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。 ○百才活力学園では、食をテーマにした講演、実際に身体を使った体操等を通じ、高齢者の健康長寿に寄与することができた。														

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,407千円		1,410千円	3千円	99.7 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	04 家庭教育事業						1,721千円	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補	家庭教育支援基盤形成事業補助金（2/3）				712千円
目的		全ての教育の出発点である家庭教育を推進するため、子どもの発達段階に即した学習及び交流機会の充実に努めるとともに、PTA活動を支援する。			主な財源				
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動の支援を行った。				○家庭教育支援チーム事業 子育て交流会等ファシリテーター謝金 ○子育て講座等の実施 ※乳幼児講座3回、子育て（学童・思春期）講座5回、親子体操教室20回 ・子育て講座等講師謝金 ・親子体操教室講師謝金 ・消耗品費等事務費 ○京丹後市PTA協議会補助金 市研究大会の開催、各種研修会への参加、安全会掛金等への助成				
	■家庭教育支援チーム事業 子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館が事務局として運営のサポートをし、地域課題に即した子育て支援活動が実施出来るよう生涯学習課で起案し実施。								
	事業		回数	延べ参加者数					
	子育て交流会		15回	352人					
	「手紙で結ぶ家族の絆」事業		12回	340人					
	子育て広場		8回	305人					
	高校生と赤ちゃんのふれあい交流		4回	68人					
	合 計		39回	1,065人					
	※広報紙発行：1回								
	■子育て講座（講師謝金等）								
事業		回数	延べ参加者数						
乳幼児期子育て講座		3回	115人						
就学前、思春期子育て講座		5回	407人						
親子リフレッシュ体操教室		20回	282人						
合 計		28回	804人						
成果・課題		○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と情報共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	35,334千円		35,532千円	198千円	99.4 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	05 文化芸術事業				37,020千円			
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金			1,483千円	
目的		「文化芸術振興計画（令和4年12月策定）」に基づき、市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう、地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進するため、各種文化芸術活動を支援する。		府補	きょうと地域連携交付金（文化芸術事業）			2,300千円	
			繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			1,473千円		
主要な事務・事業の概要	○文化芸術振興審議会		61千円	○「落語体験塾」及び「京丹後落語三人会」企画運営業務					1,158千円
	・委員報酬（対象：15人中13人 回数：1回）		40千円	落語体験塾（大宮中・網野中）、落語三人会（R5.11.10、アグリセンター大宮）					
	・委員報酬アドバイザー謝金（1人）		16千円	○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金					50千円
	・委員費用弁償		5千円	閉校になった学校の校歌保存事業（旧吉原小・旧五箇小・旧橘中など）の実施を支援した。					
	○京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議		104千円	○丹後文化芸術祭実行委員会補助金					1,300千円
	・委員報酬（対象：15人 回数：2回）		69千円	舞台6事業、展示2事業、セミナー1事業の実施を支援。					
	・委員報酬アドバイザー謝金（1人）		30千円	○京都府丹後文化事業団運営補助金					27,000千円
	・委員費用弁償		5千円	人件費、施設管理費等、運営経費に対する補助金					
	○おとまち響プロジェクト（ピアノ調律料、建物共済保険料等）		114千円	○京丹後市文化協会運営補助金					3,500千円
	○京丹後アートフェスティバル2023		1,747千円	加盟団体112団体（人件費等、運営経費に対する補助金）					
	市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供した。			○丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金					300千円
	・謝金、印刷製本費、イベント管理運営委託料ほか		1,747千円	TANGOまるっぽ美術館（R5.11～12月、丹後庁舎他、大宮・弥栄町域）					
・会期：R5.9.23～R6.2.25			成果・課題	○優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。					
・内容		○京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進し、文化芸術によるまちづくりを進めるため京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議が発足した。							
		○（公財）京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等、各団体の自立運営に向けた支援をしていく必要がある。							
		みるプログラム	連携団体17団体、連携イベント53事業の内容をマップ掲載						
		知るプログラム	みなみなさいをする	5回・延16名	いさなご工房他				
		10月～2月	たんごのだんす、どうなっとるだあ	5回・延49名	丹後文化会館他				
			京丹後ルネサンス	5回・延30名	大宮ふれあい工房他				
		シンポジウム	R6.2.25、アグリセンター大宮、参加72名						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	159千円		269千円	110千円	59.1 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	06 人権教育事業					269千円		
基本計画		22 人権を尊重するまちづくり	主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）				6千円
				府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）				3千円
				府補	人権問題啓発事業費補助金				60千円
目的		人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会を提供するなど人権教育を推進する。							
主要な事務・事業の概要	○人権講演会の開催（人権学習）		120千円		【視覚障害者交流研修会（R5.6.16） 参加者：19人】				
	・講師謝金		11千円		貝がら手作り体験（流木フレーム（中））、館内見学、鳴き砂、漂着ゴミに関する講話				
	・消耗品費（資料用紙）		5千円		（会場：琴引浜鳴き砂文化館）				
	・会場借上料		104千円						
	【人権教育研究京丹後市大会（R5.8.18） 参加者：298人】				○人権教育指導者研修会、交流研修会への参加				
	講演「子どもとともに歩む路～人権教育との出会い～」				・燃料費				
	講師 八幡市立中央小学校 校長 横山 達雄 氏				・バス運転委託料				
	（会場：京都府丹後文化会館）				16千円				
	【夏休み子ども映画会（R5.8.11） 参加者：60人】				○その他経費（消耗品）				
	映画「TANG」の上映				14千円				
（会場：アミティ丹後2階 多目的ホール）									
○視覚・聴覚障害者交流研修会の開催		7千円		成果・課題	○人権教育研究京丹後市大会や夏休み子ども映画会を通じ、人権学習の機会を提供することができた。また、障害者交流研修会を通じて、障害者の交流及び社会参加の促進につなげることができた。 ○誰もが平等で、人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に行動できるよう、啓発活動だけでなく学習の機会を充実させる必要がある。				
・講師謝金		6千円							
・消耗品費		1千円							
【聴覚障害者交流研修会（R5.10.17） 参加者：15人】									
モルック、コーヒーアート体験									
（会場：大宮保健センター）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	32,854千円		32,939千円	85千円	99.7 %		
	目	03 公民館費					(参考) 当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 中央公民館管理運営事業					33,351千円		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債） 19,000千円					
目的	教育委員会内に中央公民館を設置し、地域住民の学習及び交流活動の拠点となる地域公民館及び地区（自治）公民館を統括、支援するとともに、公民館関係職員の研修機会を設ける。								
主要な事務・事業の概要	○地区公民館活動交付金 30,806千円		【交付金町域別内訳】						
	【積算内訳（調整有）】								
	地区割 20,000円×180地区								
	世帯数割 1,400円×20,651世帯								
町均等割 250,000円×6町									
○公民館職員研修会開催									
京都府の「府民講座」を利用したことにより、京都府の負担で実施									
○公民館総合（傷害）保険料（52団体分） 2,048千円									
		※令和5年度より4地区公民館（野間地区・久美浜一区・久美浜二区・佐濃地区）が、新たな4組織（野間連合区・久美浜一区自治会・久美浜二区振興会・佐濃自治会）として新コミュニティに移行し「地域コミュニティ活動交付金」により支援							
		成果・課題		○地区公民館活動の支援を通じて、住民によるコミュニティ活動を通じた学習や交流機会の提供など、地区公民館が地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○持続可能な地域づくりのため、新たな地域コミュニティへのスムーズな移行を推進するため、今後の公民館活動の在り方など、地区公民館への丁寧な説明を行う必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費	25,559千円		26,075千円	516千円	98.0 %		課	生涯学習課	
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額				
	事業	02 地域公民館管理運営事業				28,825千円					
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	峰山・丹後・弥栄地域公民館使用料				1,285千円	
目的	社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図るほか、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。				使用料	峰山地域公民館水道使用料負担金				229千円	
					使用料	丹後地域公民館光熱水費負担金				50千円	
					諸収入	社会教育事業等参加料				57千円	
					諸収入	峰山地域公民館漏水修繕工事負担金				136千円	
諸収入	市有自動車損害共済金				90千円						
主要な事務・事業の概要	○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報			503千円		＜主な公民館事業＞ ※ 参加者数は延べ人数					
	・報償費（講師謝金、報償物品）			143千円		事業種別	事業・講座名		回数	参加者数	決算額
	・需用費（消耗品費、燃料費）			204千円		成人教育	ジ・オ・山野草ウォーキング（網野・丹後）		2回	62人	12千円
	・使用料及び賃借料（会場使用料、器材借上料）			74千円			はじめての大人の木工教室（網野）		2回	26人	12千円
	・委託料（バス運転）			82千円			みんなで楽しむ山登り講座（丹後）		2回	30人	12千円
	○地域公民館施設等維持管理経費			25,056千円			ハードウォッチング体験講座（丹後）		3回	24人	18千円
	・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費）			11,110千円			Twinぼーるエクササイズ教室（久美浜）		3回	34人	18千円
	・役務費（通信運搬費、ゴミ処理手数料ほか）			344千円		青少年教育	夏休み子ども体験教室（峰山・大宮・弥栄）		4回	43人	6千円
	・委託料（宿日直、施設清掃、エレベーター保守点検ほか）			11,076千円			網野町ウイ・キッド事業（網野）		9回	274人	107千円
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料）			285千円			丹後町少年少女意見発表大会（丹後）		1回	224人	14千円
	・備品購入費（弥栄地域公民館ガス炊飯器）			136千円		家庭教育	親子ふれあいスクール（久美浜）		3回	43人	12千円
	・修繕費（峰山地域公民館2階床カーペット修繕ほか）			2,105千円							
	＜貸館施設の利用状況＞					成果・課題	○市民に学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。				
	区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費	○貸館施設の利用者数はコロナ禍前に戻りつつある兆しはあるが、コロナ禍で活動が止まった団体等もあり、今後の市民活動の活性化に務める必要がある。						
	峰山地域公民館	2,269回	33,481人	9,490千円	○各公民館施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が多いことから、計画的な修繕を検討する必要がある。						
	丹後地域公民館	688回	11,047人	7,595千円							
		弥栄地域公民館	818回	16,482人	7,553千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	2,750千円		2,750千円	0千円	100.0 %		
	目	03 公民館費					(参考) 繰越予算額	課	生涯学習課
	事業	02 地域公民館管理運営事業（繰越）					2,750千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	社会教育活動、生涯学習等を行う拠点として、峰山、丹後及び弥栄の各地域公民館の管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○丹後地域公民館屋内消火栓ポンプ修繕工事 ・修繕料		2,750千円 2,750千円						
				成果・課題	屋内消火栓ポンプの修繕を実施し、火災発生時の初期消火活動に支障なく使用できるようになった。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	04 社会教育費	4,106千円		4,264千円	158千円	96.2 %																							
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																					
	事業	03 地区公民館管理運営事業					4,615千円																							
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 201千円																									
目的		地域住民の身近な生涯学習・地域活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。																												
主要な事務・事業の概要	○網野地域の地区公民館施設の維持管理経費		4,106千円		＜利用状況＞																									
	・地区公民館管理謝金 8館分 報償費（地区公民館管理謝金）		936千円		・網野地区公民館																									
	・地区公民館経常経費（3館分） 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料 アスベスト分析等検査手数料（網野地区公民館）） 使用料及び賃借料（ガス警報器使用料） 備品購入費（湯沸し器1台）		1,039千円		<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>大広間</td><td>120回</td><td>3,025人</td></tr><tr><td>大会議室・小会議室</td><td>141回</td><td>2,517人</td></tr><tr><td>公民館会議室</td><td>16回</td><td>432人</td></tr><tr><td>和 室</td><td>89回</td><td>829人</td></tr><tr><td>調理室</td><td>1回</td><td>36人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>367回</td><td>6,839人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用者数	大広間	120回	3,025人	大会議室・小会議室	141回	2,517人	公民館会議室	16回	432人	和 室	89回	829人	調理室	1回	36人	合 計	367回	6,839人
	区 分	利用回数	延べ利用者数																											
	大広間	120回	3,025人																											
	大会議室・小会議室	141回	2,517人																											
公民館会議室	16回	432人																												
和 室	89回	829人																												
調理室	1回	36人																												
合 計	367回	6,839人																												
・施設管理委託料（1館分） 委託料（管理委託料、消防設備等保守点検委託料、 防火対象物定期点検報告業務委託料（不執行））		528千円																												
・地区公民館火災保険料等補助金（7館分）		1,603千円		成果・課題																										
				○適正に維持管理を行うことにより、施設の機能、利用者の利便性を維持確保することができた。 ○網野地域には地区集会施設の一部を公民館施設として占用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、市負担の軽減・廃止に向けて調整を図る必要がある。																										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	33,471千円		33,670千円	199千円	99.4 %			
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	50 公民館一般経費					33,320千円			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源						
目的	地域公民館配置の会計年度任用職員任用経費及び公民館運営に係る事務局経費									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（地域公民館：12人） （社会教育指導員6人、事務補助員6人）		32,693千円		○京都府公民館連絡協議会負担金					33千円
	・報酬		23,641千円		○AED借上料（峰山・丹後地域公民館）					63千円
	・期末手当		4,163千円							
	・共済費		4,342千円		○その他経費（消耗品費）					7千円
	・費用弁償		547千円							
	○公民館大会・研修会への参加に関する経費		36千円							
	・旅費（費用弁償、旅費）		12千円							
	・需用費（消耗品費、燃料費）		17千円							
	・使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		7千円							
	○地域公民館配置公用車の維持管理経費（5台）		639千円		成果・課題	○市内6地域公民館の運営について、正職員である地域公民館長1人と会計年度任用職員2人の3人体制により、適正に運営することができた。 ○研修を通じた公民館職員の資質向上、及び情報共有による各公民館活動の更なる充実を図る必要がある。				
・需用費（燃料費、修繕料）		468千円								
・役務費（登録手数料、自動車損害保険料等）		143千円								
・公課費（自動車重量税）		28千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																													
	項	04 社会教育費	75,113千円		75,398千円	285千円	99.6 %																																															
	目	04 図書館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																													
	事業	01 図書館管理運営事業					77,554千円																																															
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金				5,000千円																																													
				寄附金	ふるさと応援寄附金				800千円																																													
目的	生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集、整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。 また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種の行事等を企画・運営する。																																																					
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬・費用弁償		107千円		＜利用状況等＞																																																	
	(委員10人、会議3回)		107千円																																																			
	○市立図書館（2館）図書室（4室）の管理運営費		75,006千円		<table><tr><td>区 分</td><td>蔵書数</td><td>年間貸出点数</td><td>(個人貸出点数)</td><td>年間貸出者数</td></tr><tr><td>峰山図書館</td><td>84,067点</td><td>71,103点</td><td>51,248点</td><td>11,654人</td></tr><tr><td>あみの図書館</td><td>106,926点</td><td>99,661点</td><td>83,036点</td><td>18,469人</td></tr><tr><td>大宮図書室</td><td>37,514点</td><td>61,982点</td><td>48,182点</td><td>9,864人</td></tr><tr><td>弥栄図書室</td><td>28,527点</td><td>32,751点</td><td>26,526点</td><td>6,297人</td></tr><tr><td>丹後図書室</td><td>29,240点</td><td>30,216点</td><td>23,332点</td><td>5,621人</td></tr><tr><td>久美浜図書室</td><td>25,630点</td><td>48,859点</td><td>37,485点</td><td>9,008人</td></tr><tr><td>(インターネット)</td><td></td><td>2,200点</td><td>2,200点</td><td>2,200人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>311,904点</td><td>346,772点</td><td>272,009点</td><td>63,113人</td></tr></table> ※市民1人当たりの年間貸出冊数：5.38冊 （個人貸出点数/R5年度末人口） ※インターネットでの貸出延長処理 12月より実施（1点1人換算）					区 分	蔵書数	年間貸出点数	(個人貸出点数)	年間貸出者数	峰山図書館	84,067点	71,103点	51,248点	11,654人	あみの図書館	106,926点	99,661点	83,036点	18,469人	大宮図書室	37,514点	61,982点	48,182点	9,864人	弥栄図書室	28,527点	32,751点	26,526点	6,297人	丹後図書室	29,240点	30,216点	23,332点	5,621人	久美浜図書室	25,630点	48,859点	37,485点	9,008人	(インターネット)		2,200点	2,200点	2,200人	合 計	311,904点	346,772点	272,009点	63,113人
	区 分	蔵書数	年間貸出点数	(個人貸出点数)						年間貸出者数																																												
	峰山図書館	84,067点	71,103点	51,248点						11,654人																																												
	あみの図書館	106,926点	99,661点	83,036点						18,469人																																												
	大宮図書室	37,514点	61,982点	48,182点						9,864人																																												
	弥栄図書室	28,527点	32,751点	26,526点						6,297人																																												
	丹後図書室	29,240点	30,216点	23,332点						5,621人																																												
	久美浜図書室	25,630点	48,859点	37,485点						9,008人																																												
	(インターネット)		2,200点	2,200点						2,200人																																												
	合 計	311,904点	346,772点	272,009点						63,113人																																												
	・会計年度任用職員任用経費（通常業務19人、代行職員）		52,286千円																																																			
	・図書購入費（AV資料含む）		8,779千円																																																			
・雑誌及び新聞購入費		1,309千円																																																				
・ブックスタート事業経費（279人に配付）		162千円																																																				
・Wi-Fiルーター通信料		97千円																																																				
・図書システム設定手数料		5,121千円																																																				
・図書システム利用料、保守委託料		3,252千円																																																				
・光熱水費（あみの図書館）		1,792千円																																																				
・その他（図書装備用品等）		2,208千円																																																				
＜主なサービス内容＞				成果・課題	○計画通り行事を実施することができ、市民に対する読書推進を図ることができた。 ○システム更新を行い、Web利用者カード、返却予定日通知メール等新たなサービスを開始した。 ○貸出冊数、図書館行事への参加者数が減少傾向にあるため、引き続きサービス等について周知、工夫に努める必要がある。 ○市立図書館（2館）図書室（4室）の運営体制・サービスについて、ニーズ把握に努め、対応を検討していく必要がある。																																																	
・資料（図書・AV資料・雑誌新聞）の収集、整理、保存、貸出など																																																						
・閲覧、学習スペースの提供（Wi-Fi接続サービス）																																																						
・図書館相互協力・おはなし会等の行事開催・広報活動																																																						
・学校等との連携による読書推進事業・読み聞かせボランティアの活用など																																																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費	2,173千円		2,382千円	209千円	91.2 %																	
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課															
	事業	01 郷土資料館管理運営事業					2,161千円																	
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料 郷土資料館入館料 25千円																			
目的		市内で収集を続けている民俗資料等を収蔵・調査・公開する資料館として、来館者に本市の文化を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設に位置付けており、資料館内外の収蔵資料の調査や整理を行うとともに、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて郷土の歴史への関心を高める役割も果たす。																						
主要な事務・事業の概要	豊富に残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等の適切な保管・公開を行った。				【企画展示・イベント・見学対応】																			
	○郷土資料館の維持管理、展示等に関する経費 2,173千円				<table><tr><td>期 間</td><td>タイトル</td><td>入館者数</td></tr><tr><td>R5.3.4～5.15</td><td>春季企画展「こどもの節句展」</td><td>60人</td></tr><tr><td>R5.8.10</td><td>夏休み体験講座</td><td>22人</td></tr><tr><td>R5.10.23～11.30</td><td>秋季企画展「むかしの装い」</td><td>29人</td></tr><tr><td>R6.2.1～R6.2.28</td><td>小学3年生「昔の暮らし」見学対応</td><td>133人</td></tr></table>					期 間	タイトル	入館者数	R5.3.4～5.15	春季企画展「こどもの節句展」	60人	R5.8.10	夏休み体験講座	22人	R5.10.23～11.30	秋季企画展「むかしの装い」	29人	R6.2.1～R6.2.28	小学3年生「昔の暮らし」見学対応	133人
	期 間	タイトル	入館者数																					
	R5.3.4～5.15	春季企画展「こどもの節句展」	60人																					
	R5.8.10	夏休み体験講座	22人																					
	R5.10.23～11.30	秋季企画展「むかしの装い」	29人																					
	R6.2.1～R6.2.28	小学3年生「昔の暮らし」見学対応	133人																					
	・維持管理経費 1,393千円																							
	（燃料、光熱水費、修繕、通信費、火災保険料）																							
	・施設保守管理経費（貯水槽、浄化槽、消防設備） 184千円																							
・施設警備委託料 86千円																								
・使用賃借料（コピー機借上料、テレビ受信料） 163千円																								
・その他事務経費（消耗品） 183千円																								
・原材料費（組紐体験用の材料） 5千円																								
・備品購入費（消火器1本） 5千円																								
・廃消火器処理手数料 1千円																								
・漏水調査手数料 153千円																								
成果・課題		○民俗資料・典籍等の公開、2回の企画展の開催、夏休み体験講座を実施するなど、昔のくらしや道具を中心とする民俗文化財について広く知っていただく機会を提供した。 ○市内小学校の社会科見学の受け入れを行い、実物に触れながら学び、学習効果を高めることができた。 ○常設展示の配置や展示資料の解説内容などの改善していくことが課題である。また、京丹後市文化財保存活用地域計画に即した食文化の展示なども検討する必要がある。																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	04 社会教育費	13,353千円		14,029千円	676千円	95.1 %																		
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課																
	事業	02 古代の里資料館管理運営事業					13,932千円																		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	使用料	古代の里資料館入館料				538千円																
目的		丹後古代の里資料館は、市内の考古・歴史資料を収蔵・調査・公開する資料館であり、来館者に本市の文化財を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設として位置付けている。 また、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向け、郷土の歴史の関心を高める役割も果たす。		諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料				22千円																
				諸収入	古代の里資料館物品販売代金				35千円																
				諸収入	古代の里資料館書籍販売代金				209千円																
主要な事務・事業の概要	考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図った。																								
	○丹後古代の里資料館の維持管理、展示等に関する経費		13,353千円		【企画展示】																				
	・会計年度任用職員任用経費		9,802千円		<table><tr><th>期 間</th><th colspan="2">タイトル</th><th>入館者数</th></tr><tr><td>R5.6.10～R5.9.18</td><td colspan="2">企画展示1「浜詰遺跡に生きた縄文人」</td><td>1,013人</td></tr><tr><td>R5.10.7～R5.11.26</td><td colspan="2">企画展示2「丹」</td><td>491人</td></tr><tr><td>R5.2.10～R6.4.14</td><td colspan="2">企画展示3「丹後震災を伝える」</td><td>338人</td></tr></table>					期 間	タイトル		入館者数	R5.6.10～R5.9.18	企画展示1「浜詰遺跡に生きた縄文人」		1,013人	R5.10.7～R5.11.26	企画展示2「丹」		491人	R5.2.10～R6.4.14	企画展示3「丹後震災を伝える」		338人
	期 間	タイトル		入館者数																					
	R5.6.10～R5.9.18	企画展示1「浜詰遺跡に生きた縄文人」		1,013人																					
	R5.10.7～R5.11.26	企画展示2「丹」		491人																					
	R5.2.10～R6.4.14	企画展示3「丹後震災を伝える」		338人																					
	(資料館業務員4人、郷土資料館と兼務)																								
	・維持管理経費(燃料、光熱水費、通信費、火災保険)		1,629千円		【入館者数・推移】																				
	・施設保守管理経費(電気設備、浄化槽、消防設備)		413千円		<table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>1,380人</td><td>1,579人</td><td>2,454人</td><td>2,424人</td></tr></table>					R2	R3	R4	R5	1,380人	1,579人	2,454人	2,424人								
R2	R3	R4	R5																						
1,380人	1,579人	2,454人	2,424人																						
・施設警備委託料		74千円																							
・雑木伐採委託料		440千円																							
・使用料及び賃借料(コピー機、清掃用具、土地借上げ等)		460千円																							
・その他事務経費(消耗品)		351千円																							
・原材料費(勾玉作り体験材料)		33千円																							
・展示関係経費(企画展示チラシ、旅費、有料道路通行料等)		151千円																							
				成果・課題	○考古・歴史資料の公開により、文化財の普及啓発を図った。 ○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。 ○平成6年の開館から30年が経ち、建物屋根の修繕や館内設備の計画的な更新等が今後の検討課題である。																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	10,204千円		10,205千円	1千円	99.9 %		課
	目	05 資料館費							
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業							
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	琴引浜鳴き砂文化館において、本市の豊かな自然環境のシンボルである琴引浜の鳴き砂についての展示や様々な体験事業を実施し、普及啓発を行うとともに、世界認定されている山陰海岸ジオパークの拠点施設として、他の関連地域や施設と連携し積極的な事業展開に努める。								
主要な事務・事業の概要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引き浜鳴り砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。 ○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料 8,714千円 ○使用料及び賃借料 1,287千円 ・ 駐車場用地の一部にある民間土地借上料（518.81㎡） ・ 建物の所有者である公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料 ○備品購入（顕微鏡3台） 203千円 ・ ケニスズーム式実体顕微鏡1台 ・ 小型双眼実体顕微鏡2台				【入館者数・推移】				
				成果・課題	○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力、「丹後学」をはじめとする市内学校の見学対応などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。 ○施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費	9,673千円		10,012千円	339千円	96.6 %																	
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課															
	事業	01 峰山いさなご施設管理運営事業					10,063千円																	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	公有財産使用料			60千円															
目的	親子のふれあいを含めた世代間の交流体験施設として、生涯学習の機会を提供することにより、市民の生きがいづくり及び健康増進を図るため、峰山林業総合センター（木工体験施設）、いさなご工房（陶芸体験施設）、いさなごコート（屋根付ゲートボール場）を管理運営する。				使用料	峰山林業総合センター使用料			54千円															
					使用料	峰山いさなご工房使用料			710千円															
					使用料	峰山いさなごコート使用料			2千円															
					諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代			25千円															
					諸収入	太陽光発電余剰電力料			51千円															
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費 ・社会教育指導員 1人 ・作業員 2人 （報酬、期末手当、共済費、費用弁償） ○管理運営経費 ・需用費 （消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） ・役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料） ・委託料（消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料） ・使用料及び賃借料（テレビ受信料、機械器具借上料） ・備品購入費（丸鋸1台）			6,731千円		＜利用状況＞ <table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用人数</td></tr><tr><td>林業センター</td><td>111回</td><td>755人</td></tr><tr><td>いさなご工房</td><td>235回</td><td>665人</td></tr><tr><td>いさなごコート</td><td>255回</td><td>3,681人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>601回</td><td>5,101人</td></tr></table>				区 分	利用回数	延べ利用人数	林業センター	111回	755人	いさなご工房	235回	665人	いさなごコート	255回	3,681人	合 計	601回	5,101人
				区 分	利用回数					延べ利用人数														
				林業センター	111回					755人														
				いさなご工房	235回					665人														
				いさなごコート	255回					3,681人														
				合 計	601回					5,101人														
				2,942千円																				
				2,337千円																				
				175千円																				
				360千円																				
46千円																								
24千円																								

成果・課題	施設の管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。
-------	--

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																												
	項	04 社会教育費	16,591千円		16,830千円	239千円	98.5 %																														
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																												
	事業	02 マスターズビルレッジ 管理運営事業					17,283千円																														
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料			1,220千円																												
目的		活力のある長寿社会の実現に向けて、生きがいつくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図るため、大宮ふれあい工房（陶芸、染色体験施設）及びふれあいスポーツ広場等を管理運営する。			使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料			18千円																												
					諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入			4千円																												
					諸収入	社会教育事業等参加料			66千円																												
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（事務補助員・作業員）任用経費（6人）		11,206千円		＜利用状況＞ <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th colspan="2">延べ利用者数等</th></tr><tr><td rowspan="5">ふれあい工房</td><td>展示室</td><td>利用者数</td><td>3,120人</td></tr><tr><td>会議室</td><td>利用者数</td><td>640人</td></tr><tr><td>陶芸体験</td><td>体験者数</td><td>971人</td></tr><tr><td>染色体験</td><td>体験者数</td><td>391人</td></tr><tr><td>その他</td><td>利用者数</td><td>1,891人</td></tr><tr><td colspan="2">ふれあいスポーツ広場</td><td>利用者数</td><td>4,587人</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td colspan="2">11,600人</td></tr></table>					区 分		延べ利用者数等		ふれあい工房	展示室	利用者数	3,120人	会議室	利用者数	640人	陶芸体験	体験者数	971人	染色体験	体験者数	391人	その他	利用者数	1,891人	ふれあいスポーツ広場		利用者数	4,587人	合 計		11,600人	
	区 分		延べ利用者数等																																		
	ふれあい工房	展示室	利用者数	3,120人																																	
		会議室	利用者数	640人																																	
		陶芸体験	体験者数	971人																																	
		染色体験	体験者数	391人																																	
		その他	利用者数	1,891人																																	
	ふれあいスポーツ広場		利用者数	4,587人																																	
	合 計		11,600人																																		
	・事務補助員 2人																																				
・作業員 4人																																					
（報酬、期末手当、共済費、費用弁償）																																					
○施設維持管理経費		5,385千円																																			
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、印刷製本費等）		2,687千円																																			
・役務費（通信運搬費、火災保険料）		152千円																																			
・委託料（電気工作物保安管理委託料、樹木伐採委託料等）		912千円																																			
・使用料及び賃借料（テレビ受信料、清掃用具借上料等）		62千円																																			
・工事請負費（高圧受電設備塗装工事、エアコン更新工事）		1,349千円																																			
・体験事業材料代		223千円																																			
成果・課題		○陶芸、染色実習室、展示室、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいつくり及び健康増進に寄与することができた。 ○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と維持管理や運営の在り方等を協議・検討する必要がある。																																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,261千円		1,282千円	21千円	98.3 %		
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 たちばな会館管理運営事業					1,405千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	諸収入 たちばな会館光熱水費負担金 296千円				
目的	網野町橋地区における生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○施設維持管理費			1,261千円					
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）			677千円					
	・役務費（通信運搬費、火災保険料）			79千円					
	・委託料（会館管理業務、消防設備等保守点検業務）			505千円					
	＜利用状況＞								
	区 分	利用回数	延べ利用者数						
	会議室	56 回	414人						
	大会議室	103 回	1,049人						
	料理実習室	32 回	159人						
	和室1	80 回	574人						
	和室2								
	多目的ホール	225 回	2,320人						
	合 計	496 回	4,516人						
				成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	04 社会教育費	1,896千円		1,958千円	62千円	96.8 %																										
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																								
	事業	04 網野教育会館管理運営事業					1,958千円																										
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																													
目的	教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、当該施設の利用の促進を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費		1,896千円		<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>1階和室</td><td>118回</td><td>1,106人</td></tr><tr><td>料理実習室</td><td>4回</td><td>86人</td></tr><tr><td>講義室</td><td>70回</td><td>332人</td></tr><tr><td>2階和室</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>大ホール</td><td>382回</td><td>3,501人</td></tr><tr><td>全 館</td><td>6回</td><td>680人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>580回</td><td>5,705人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用者数	1階和室	118回	1,106人	料理実習室	4回	86人	講義室	70回	332人	2階和室	0回	0人	大ホール	382回	3,501人	全 館	6回	680人	合 計	580回	5,705人
	区 分	利用回数	延べ利用者数																														
	1階和室	118回	1,106人																														
	料理実習室	4回	86人																														
	講義室	70回	332人																														
	2階和室	0回	0人																														
	大ホール	382回	3,501人																														
	全 館	6回	680人																														
	合 計	580回	5,705人																														
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		743千円																														
・役務費（通信運搬費、火災保険料）		51千円																															
・委託料（浄化槽維持管理業務、消防設備等保守点検業務		660千円																															
防火対象物定期点検報告業務(不執行)、会館管理業務)																																	
・使用料及び賃借料（テレビ受信料）		14千円																															
・工事請負費（男子トイレ洋式化工事 和式2個→洋式1個）		412千円																															
・備品購入費（掃除機1台）		16千円																															

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	127千円		213千円	86千円	59.6 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業					213千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費 86千円 文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人） ・報酬（半日×2回、4千円×延べ19人） 76千円 ・費用弁償 10千円 ○両丹文化財保護連絡協議会開催経費 41千円 令和5年度は与謝野町で開催（令和5年11月1日） 場所：与謝野町加悦保健センター「元気館」2階研修室 参加者：京都府北部の各市町の文化財に携わる委員及び担当職員 テーマ：「郷土の文化財に関する発表」 「郷土の文化財」に関する事例発表により情報交換を行った。また、海の京都DMOの福井誠氏に記念講演をいただき知見を深めた。								
	・報酬（半日、4千円×9人） 36千円 ・費用弁償 5千円				成果・課題	○令和7年度に新規の市指定文化財を指定するために、審議会において意見を聴取し検討を深めることができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会に参加し、各市町の事例発表を通して京都府北部の文化財を取り巻く課題について共有することにより連携を深めることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	11,943千円		11,962千円	19千円	99.8 %		課	文化財保存活用課
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額			
	事業	02 指定文化財等管理事業					10,953千円			
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金				3,284千円	
				府補	京都府指定・登録文化財等補助金（1/2）				53千円	
目的	市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、修理や保全に係る事業に対して補助金を交付するとともに、180件を超える市内指定文化財（国、府、市指定文化財）等を適切に維持管理し、看板設置などにより指定文化財等の普及啓発を図る。									
主要な事務・事業の概要	○京丹後市指定文化財等補助金		14件	2,500千円	○指定文化財等維持管理費					1,124千円
	（内訳）・国、府指定登録文化財補助金該当		7件	1,885千円	・国府市指定史跡等草刈委託料（神明山古墳ほか4件）					537千円
	・京都府社寺等文化資料保全補助金該当		7件	615千円	・文化財施設環境美化委託料（竹野神社周辺ほか10件）					470千円
	神社・寺院や覆屋等の修理、民俗芸能の道具の修理・新調などを支援。									
	＜参考＞【令和4年度実績】補助件数：12件 補助金額：2,390千円									
	○コウノトリ緊急対応関係経費		364千円		○文化財関連看板等工事請負事業					361千円
	国指定特別天然記念物のコウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録を行うとともに、個体識別のための足環装着を実施した。（期間：令和5年4月4日～6月19日）				・文化財説明看板修繕費（浜詰遺跡説明看板ほか1件）					129千円
	○湯舟坂2号墳出土金属製品保存科学処理委託事業		5,054千円		・浜詰遺跡復元住居修繕					232千円
	・保存科学処理委託料		4,998千円							
	・協議旅費		56千円							
	国指定重要文化財の湯舟坂2号墳出土品のうち破損等が認められる鉄製品等を保存処理し計265点分の安定台を製作する。（4か年計画の2年目）				成果・課題					
	○丹後震災記念館周辺樹木伐採及び絵画の補修		2,540千円		○市内に数多く残る文化財の保全のために修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。					
	・樹木伐採委託料		1,023千円		○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行い、コウノトリの個体保護に寄与することができた。					
	・絵画修繕料、運搬料		1,517千円		○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。					
	（伊藤快彦作の油絵3点の修復、3か年事業の1年目）				○文化財案内看板等の計画的な整備に努め、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。					

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	53,666千円		53,752千円	86千円	99.8 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	03 遺跡整備事業					53,884千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）			20,525千円	
				市債	遺跡整備事業債（過疎債）			32,100千円	
目的	地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を、教育、観光、地域づくりの資源として有効に活用するため、史跡整備を推進する。 網野銚子山古墳の保存・活用に向け史跡整備検討委員会で検討を進め、令和5年度は史跡地内の整理伐採、墳頂部の補修盛土など、環境整備を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○史跡整備検討委員会経費		201千円		○環境維持関係経費		714千円		
	・報酬	史跡整備検討委員会委員報酬 （3回開催、委員15人）	132千円		・委託料	網野銚子山古墳周辺下草刈委託料		714千円	
	・旅費	史跡整備検討委員会委員費用弁償	69千円						
	○網野銚子山古墳整備事業費		52,751千円						
	・旅費	文化庁調査官指導旅費、協議旅費	60千円						
	・需用費	消耗品費	24千円						
	・委託料	実施設計委託料	9,415千円						
		工事監理委託料	1,540千円						
		測量委託料	1,746千円						
	・工事請負費	環境整備工事費	39,966千円						
【令和5年度整備内容】 古墳及び周辺の整理伐採、墳丘の補修盛土、葺石復元、周溝表示				成果・課題	○網野銚子山古墳については、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事を進めることができた。 ○墳丘及びその周辺に関する整備工事は復元埴輪設置を除き完了することができた。				
国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定した整備基本計画に基づき、史跡の保存を図りつつ整備工事を行った。 ※京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施（令和6年度完成予定）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	4,642千円		4,729千円	87千円	98.1 %		課
	目	07 文化財保護費							
	事業	04 遺跡発掘調査等事業							
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）			2,000千円
					府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）			1,000千円
目的	市内に残る遺跡等の適正な保存・活用のため、開発に先立つ発掘調査を実施して開発事業との円滑な調整を図るほか、令和2年度まで実施した網野銚子山古墳の発掘調査の成果を報告書として公表するために、発掘調査の成果をまとめる整理作業を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○網野銚子山古墳発掘調査経費 3,767千円				○田村関遺跡発掘調査経費 875千円				
	・会計年度任用職員任用経費（2人） （報酬、期末手当、共済費、費用弁償） 2,678千円				・会計年度任用職員任用経費（報酬、費用弁償）4人 491千円				
	・報償費（網野銚子山古墳原稿作成謝金）3人 110千円				・需用費（消耗品、燃料代） 23千円				
	・旅費（調査旅費、宿泊費、協議旅費） 36千円				・発電機借上料 26千円				
	・需用費（消耗品） 123千円				・重機借上料 311千円				
	・報告書印刷製本費（300部） 528千円				・水中ポンプ購入（1台） 24千円				
	・役務費（通信運搬費） 1千円				＜調査概要＞				
	・遺物写真撮影業務委託料 204千円				【田村関遺跡（現地調査 令和5年10月2日～11月9日久美浜町）】				
	・使用賃借料（パソコン借上料） 87千円				府営ほ場整備計画に先立ち、遺跡の広がりを確認するため16か所で調査を行った。6か所で、杭の検出や遺物の出土などが見られた。整理作業及び報告書作成は令和6年度実施予定である。				
	＜調査概要＞								
	【網野銚子山古墳（整理作業のみ）】								
	平成28年度～令和2年度に実施した発掘調査出土遺物の整理や、遺物実測図の作成・トレース、埴輪の復元作業、遺物写真撮影の委託、報告書原稿作成、報告書刊行作業等を実施した。成果は、令和6年3月刊行の報告書『網野銚子山古墳-整備事業に伴う発掘調査Ⅱ-』に掲載し、専門家に依頼し実施した埴輪の理化学調査や考察等も掲載した。				成果・課題	○田村関遺跡（久美浜町田村）の発掘調査では、ほ場整備前に遺跡の広がりや遺構の深度等を確認することができた。 ○網野銚子山古墳（網野町網野）では、整理作業、写真撮影委託、報告書原稿作成及び専門家による執筆作業等を進め、報告書を発刊することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	5,227千円		5,422千円	195千円	96.4 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業					5,422千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 デジタル田園都市国家構想交付金（1/2） 2,544千円					
目的	令和4年12月に文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を立ち上げるとともに、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理を行う。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保存活用地域計画推進協議会開催経費（委員15人） 114千円 文化財関係者や商工・観光関係者等が参画する推進協議会を開催し、文化財保存活用地域計画による令和5年度事業に関する進捗管理を行った。 ・委員謝金 半日×2回 （4,000円×延べ22人） 88千円 ・委員費用弁償 26千円 ○市民遺産会議開催経費（委員5人） 25千円 市民が後世に語り継ぐ歴史文化を認定する「京丹後市市民遺産制度」を令和6年1月に設立し、認定審議を行う市民遺産会議を令和6年2月に発足した。 ・委員謝金 半日×1回 （4,000円×5人） 20千円 ・委員費用弁償 5千円 ○京丹後歴史文化めぐりマップ開設経費 5,088千円 文化財保存活用地域計画に示した11のストーリーを紹介するデジタルイラストマップを作成し、WEB上で地域文化財の公開及び来訪者に関連文化財群の周遊を促す「京丹後歴史文化めぐりマップ」を開設した。 ・WEBマップ作成 4,883千円 ・看板用QRコード制作及び貼付け 51千円 ・印刷製本費（チラシ、ポスター、カード） 154千円				成果・課題	○推進協議会や市民遺産会議の開催、京丹後歴史文化めぐりマップの開設により、京丹後市文化財保存活用地域計画で示した本市の歴史文化を掘り起こし広く周知するとともに保存活用をより一層推し進めることができた。 ○今後は、計画全体の評価方法の検討や、京丹後歴史文化めぐりマップのスタンプラリー機能の活用等を推進する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局													
	項	04 社会教育費	34,586千円		34,586千円	0千円	100.0 %															
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額															
	事業	06 文化財保存活用基金					0千円															
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	財産収入 文化財保存活用基金利子収入 1千円																		
目的		京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、本市の貴重な文化財の保存及び活用を進めることを目的に、「文化財保存活用基金」に積み立てを行うもの。		寄附金 ふるさと応援寄附金 24,585千円																		
主要な事務・事業の概要	京丹後市文化財保存活用基金条例を制定し、一般財源やふるさと応援寄附金からの積み立てを行った。																					
	○文化財保存活用基金積立金 34,586千円																					
	(単位：千円)																					
	<table><tr><td>令和4年度末 現在高</td><td colspan="3">令和5年度中増減額</td><td>令和5年度末 現在高</td></tr><tr><td></td><td>繰入金</td><td>運用利子</td><td>積立金</td><td></td></tr><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>①-②+③+④</td></tr><tr><td></td><td>0</td><td>1</td><td>34,585</td><td>34,586</td></tr></table>									令和4年度末 現在高	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高		繰入金	運用利子	積立金		①	②	③
令和4年度末 現在高	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高																		
	繰入金	運用利子	積立金																			
①	②	③	④	①-②+③+④																		
	0	1	34,585	34,586																		
成果・課題																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費	2,281千円		2,380千円	99千円	95.8 %				
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	文化財保存活用課			
	事業	50 文化財保護一般経費					2,948千円				
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源							
目的	文化財の保護と活用を図るため、郷土資料館、丹後古代の里資料館以外に所管している文化財の収蔵施設等の維持管理を適切に行い、各種文化財保護関係団体の活動を推進する。 また、市が所蔵する小牧源太郎の絵画を公開し活用を図る。										
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（5か所）		190千円		○高濃度PCB廃棄処理（網野出土品収蔵庫）					1,767千円	
	資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費				・PCB運搬料					165千円	
	十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土遺物収蔵庫（網野町網野）				・PCB廃棄処理委託料					1,602千円	
	旧成路分校（峰山町鱒留） 旧三重保育所（大宮町三重）										
	高嶋寮（丹後町上野）				○印刷製本費					145千円	
	・光熱水費、火災保険料、草刈委託料、消耗品費		184千円		小牧源太郎展チラシ・ポスター印刷製本費						
	・消防設備等保守点検委託料		6千円		会期：令和5年10月21日～令和5年11月12日						
					会場：大宮ふれあい工房						
	○文化財関係加盟団体経費		70千円		来場者数：436人						
	・全国史跡整備市町村協議会・近畿地区協議会		50千円								
・全国鳴き砂ネットワーク		20千円		○専門家現地調査謝金					30千円		
				市指定文化財候補の調査に関する謝金							
成果・課題	○事務経費		79千円								
	国・府との協議、研修会出席旅費、有料道路使用料				○旧網野町時代の収蔵庫から高濃度PCBが見つかったため、安全のため廃棄処理を実施した。						
	・全国史跡整備市町村協議会臨時大会出席旅費（担当職員1人）				○文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。						
	開催日：令和5年11月1日 東京都				○市が所蔵する小牧源太郎氏の作品を一般公開することで、文化財の普及啓発を図った。						
	内 容：陳情活動										
		・文化財調査、協議等									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																														
	項	05 保健体育費	19,073千円	19,216千円	143千円	99.2 %																																																
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																														
	事業	01 社会体育団体育成事業				19,644千円																																																
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																																																		
目的	市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う（一社）京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。 また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動及び子どもスポーツ推進事業を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。																																																					
主要な事務・事業の概要	○（一社）京丹後市スポーツ協会活動補助金 15,584千円 ・加盟団体数：18団体（2,183人） ※令和6年3月末現在 ・各種事業の実施 スキルアップ研修会の開催（令和5年9月29日、2月29日） 各競技団体の活動支援（年間） スポーツ講演会の実施（令和6年3月16日） ・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝） ・広報紙の発行（年3回） ○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金 3,489千円 ・加盟団体数：63団体（児童生徒数：1,364人、指導者数：323人） ・事業内容：指導者研修会の開催、各加盟団体支援、募集チラシの発行		＜京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数＞																																																			
			<table><tr><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td></tr><tr><td>野 球</td><td>10</td><td>柔 道</td><td>1</td><td>卓 球</td><td>1</td></tr><tr><td>バレーボール</td><td>9</td><td>硬式テニス</td><td>2</td><td>複合(複数種目)</td><td>1</td></tr><tr><td>バスケットボール</td><td>6</td><td>ソフトテニス</td><td>2</td><td>カヌー</td><td>1</td></tr><tr><td>サッカー</td><td>6</td><td>バドミントン</td><td>3</td><td>レスリング</td><td>1</td></tr><tr><td>空手道</td><td>6</td><td>少林寺拳法</td><td>1</td><td>スキー</td><td>1</td></tr><tr><td>陸 上</td><td>6</td><td>新体操</td><td>1</td><td rowspan="2">合 計</td><td rowspan="2">63</td></tr><tr><td>剣 道</td><td>4</td><td>体 操</td><td>1</td></tr></table>						種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数	野 球	10	柔 道	1	卓 球	1	バレーボール	9	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1	バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1	サッカー	6	バドミントン	3	レスリング	1	空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1	陸 上	6	新体操	1	合 計	63	剣 道	4	体 操	1
			種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数																																														
			野 球	10	柔 道	1	卓 球	1																																														
バレーボール	9	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1																																																	
バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1																																																	
サッカー	6	バドミントン	3	レスリング	1																																																	
空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1																																																	
陸 上	6	新体操	1	合 計	63																																																	
剣 道	4	体 操	1																																																			
成果・課題																																																						
						○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。 ○令和5年度から法人へ移行した市スポーツ協会について、組織強化及び発展的な活動・運営となるよう引き続き支援する必要がある。																																																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,108千円		3,286千円	178千円	94.5 %		
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 保健体育総務一般経費					3,148千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。 また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費 ・審議会委員報酬：12人、開催回数：4回 ・費用弁償 ＜スポーツ推進審議会の主な内容＞ 第1回（5月25日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の進捗状況について ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて 第2回（7月25日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ・目標数値、施策体系について 第3回（10月30日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ・計画の目標、見直しについて 第4回（11月20日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて 【第2次京丹後市スポーツ推進計画】※令和5年度中間見直しを実施 計画期間：平成30年度～令和9年度（10年間）			178千円	○会計年度任用職員任用経費 （スポーツ推進室：事務補助員1人） ○社会体育に関する事務経費 ・全国大会等出場懸垂幕作成経費等				
				152千円					
	26千円	成果・課題	○「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の現状と課題を把握し、計画の中間見直しを行った。 ○今後は、計画に掲げた基本目標及び目標値の実現に向けて、施策を推進する必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,316千円		3,566千円	250千円	92.9 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 スポーツ推進委員活動事業					3,566千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。 また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（50千円×49人）		2,450千円		＜活動内容＞ ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間13回、延べ243人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレー、モルックほか） 年間85回、延べ893人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、モルック、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか）				
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）		568千円						
	○需用費（消耗品費等） ・機関誌購読料、広報用カラーペーパー		28千円						
	○役務費（スポーツ安全保険料）		89千円						
	○委託料（バス運転委託料） ・京都府スポーツ推進委員研究大会（宮津市） ・近畿スポーツ推進委員研究協議会（大阪府堺市）		96千円						
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		15千円		成果・課題	○ノルディック・ウォーキング体験会、ビーチボールバレー、モルックなどのニュースポーツの普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を強化する必要がある。			
	○負担金、補助及び交付金 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金		70千円 44千円						
	・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金		26千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	6,863千円		7,119千円	256千円	96.4 %		課	生涯学習課
	目	02 スポーツ推進費								
	事業	02 地域スポーツ推進事業								
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	国補 デジタル田園都市国家構想交付金（1/2） 598千円					
目的		市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。			府補 きょうと地域連携交付金（スポーツ・文化・IT推進事業） 2,500千円					
					繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 238千円					
					諸収入 スポーツ大会参加料 18千円					
主要な事務・事業の概要	○報償費（はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等）		23千円		＜大会等実施状況＞					
	○旅費		5千円		大会名 開催日 参加者等					
	○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費）		143千円		京丹後市総合スポーツ大会 5/1～2/29 12競技、1,185人					
	○委託料		1,258千円		市長杯争奪中学校野球大会 5/27(土)、28(日) 市内5校					
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		100千円		ジュニアカヌースプリント春季・秋季大会 5/20(土)・10/21(土) 春季：37人・秋季：中止					
	・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		840千円		京丹後チャレンジデー2023 5/31(水) 参加率56.5%、29,381人					
	・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円		徳島県鳴門市と対戦、負け					
	・弥栄町文化祭駅伝大会バス運行委託料		18千円		北近畿中学生ソフトテニス大会 6/4(日) 6市1町15校 75ペア					
	○有料道路通行料		6千円		京丹後市民陸上記録会 7/9(日) 130人					
	○負担金、補助金及び交付金		4,093千円		京都府民総合体育大会 8月～2月 14競技参加、入賞7競技					
	・京都府民総合体育大会派遣費補助金		2,500千円		弥栄町文化祭駅伝大会 11/3(祝) 6チーム、48人					
	・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金		1,500千円		はしうど杯卓球選手権大会 12/9(土) 2市1町、8校、97人					
	・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金		93千円		野村克也講演会 3/23(土) 150人					
	○野村克也メモリアル事業		1,335千円		成果・課題	市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。				
	・野村克也講演会に係る講師謝金（福本豊氏、山田雅人氏）		790千円							
	・野村克也講演会開催経費（消耗品費、食糧費、印刷製本費、会場使用料等）		195千円							
	・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金		350千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	8,596千円		8,712千円	116千円	98.6 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	03 スポーツイベント推進事業								5,490千円
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（スポーツイベント推進事業）			1,512千円		
				寄附金	ふるさと応援寄附金			3,632千円		
				諸収入	地方公共団体スポーツ活動助成金			1,335千円		
目的		観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。								
主要な事務・事業の概要	<スポーツイベントの実施状況等>									
	イベント名		開催日程	会 場	参加者等	関係予算(負担金・補助金) 執行内容				
	パラカヌーサポーター講習会		5/21(日)	久美浜湾	20人	講師謝金（1人分）		84千円		
	京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		8/5(日)	久美浜湾	64チーム、768人	実行委員会への補助金		1,700千円		
	第21回丹後100kmウルトラマラソン		9/17(日)	京丹後市内	2,439人	実行委員会への補助金		127千円		
						バス運転委託料		612千円		
	丹後大学駅伝（第85回関西学生対校駅伝競走大会）		11/18(土)	丹後地域	23チーム、253人	後援会への負担金		600千円		
						大会特別企画事業補助金		3,632千円		
	第57回久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(木・祝)	久美浜湾周辺	304人	大会運営委託料		1,350千円		
	パラスポーツ体験会		12/16(土)	大宮	39人	講師謝金（4人分）		128千円		
	全国高等学校カヌー長距離選手権大会		3/16(土)、3/17(日)	久美浜湾	134人	大会運営委託料		300千円		
	合 計					3,957人			8,449千円	
	○その他経費		63千円		成果・課題	○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。 ○第85回目を迎えた丹後大学駅伝では、記念大会としてガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、前年度に引き続き、地上波でのテレビ放送も行い、開催地である丹後地域をPRすることができた。				
	・旅費		4千円							
・消耗品費		35千円								
・燃料費（丹後大学駅伝）		24千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,213千円		2,313千円	100千円	95.6 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	04 ワールドマスターズゲームズ関西推進事業					2,516千円		
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スポーツ文化推進事業） 688千円				
					諸収入 地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金） 637千円				
目的		ワールドマスターズゲームズ関西（WMG）関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	○有料道路通行料 5千円				OSUPジャパンオープン補助金 790千円				
	○WMG関西京丹後市実行委員会運営補助金 118千円 WMG2027関西の開催に向け、大会運営に必要な基盤整備を行うため、実行委員会の開催や、大会の周知・啓発に係る事業を対象				＜SUP2023ジャパンオープン＞ ・開催日：令和5年4月15日（土）、16日（日） ※15日（土）SUP無料体験会実施 ・参加者数：88人 ※無料体験会 10人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場				
主要な事務・事業の概要	○全日本カヌーマラソン選手権大会運営補助金 1,300千円 ＜令和5年度全日本カヌーマラソン選手権大会＞ ・開催日：令和5年5月12・13・14日（金・土・日） ・参加者数：256人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場								
					成果・課題	OWMGプレ大会（SUP、カヌーマラソン）を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 OWMG大会が2027年5月に開催することが決定した。引き続き、大会の知名度の向上と機運醸成に向けた取組を展開していく必要がある。			

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	54,837千円		58,263千円	3,426千円	94.1 %			
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	01 体育施設管理運営事業					56,166千円			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	社会体育施設使用料			1,316千円	
					使用料	公有財産使用料			116千円	
目的	市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。		諸収入		旧橘小火災保険料負担金、旧橘小光熱水費負担金			112千円		
			諸収入		学校施設光熱水費利用負担金			544千円		
			諸収入		社会体育施設光熱水費利用負担金			6千円		
			諸収入		大宮社会体育館光熱水費負担金			37千円		
主要な事務・事業の概要	<体育施設の維持管理経費>				<利用状況>					
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 27,457千円				紅葉ヶ丘運動場（テニスコート） 145 件					
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等） 1,597千円				大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート） 504 件					
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等） 15,457千円				大宮社会体育館 1,077 件					
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料） 663千円				網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場） 657 件					
	○備品購入費（大宮自然運動公園自走式草刈機、業務用掃除機） 304千円				網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート） 1,706 件					
	○工事請負費 9,359千円				丹後社会体育館 351 件					
	・五箇体育館電気設備改修工事 256千円				弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場） 1,544 件					
	・網野体育センターキュービクル改修工事 742千円				久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場） 1,080 件					
	・網野体育センター高圧受電設備改修工事 1,209千円				その他体育施設（30施設） 6,547 件					
	・体育館高圧受電設備改修工事（丹波・豊栄） 1,153千円				合 計（47施設） 13,611 件					
	・弥栄総合運動公園第2キュービクル改修工事 613千円									
	・豊栄山村広場防球ネット改修工事 4,208千円									
	・豊栄山村広場グラウンド復旧工事 586千円									
	・久美浜中央運動公園テニスコート人工芝補修工事 592千円									
			参考	繰越明許費を除いた最終予算額 56,387千円		成果・課題	○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設等見直し計画に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。			
			実質的な予算執行率 97.2%							
	■令和6年度への繰越事業 1,876千円									
			体育館高圧受電設備改修工事（丹波・豊栄） 令和6年10月完了予定							

予算科目	款	10 教育費						本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費						1,533千円		1,684千円		151千円		91.0 %				
	目	03 体育施設費												(参考)当初予算額		課	生涯学習課	
	事業	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業												1,684千円				
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実						主な財源	使用料	小学校施設使用料						251千円		
									使用料	中学校施設使用料						182千円		
目的		市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。																
主要な事務・事業の概要	<利用状況> (単位：施設・件)										○需用費 1,533千円							
				峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	【所管課：生涯学習課】							
	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	2	3	17	・印刷製本費（利用申請書）等 157千円							
			利用件数	764	692	773	287	260	528	3,304	・修繕料（屋外照明架台修繕等） 477千円							
		グラウンド	施設数	4	2	4	2	2	3	17	【所管課：教育総務課】							
			利用件数	399	257	692	125	260	53	1,786	・消耗品費（体育館ランプ） 15千円							
		格技場	施設数			2				2	・修繕料（体育館照明取替等） 884千円							
			利用件数			230				230								
	中学校	体育館	施設数	2	1	1	2	1	1	8								
			利用件数	38	217	169	9	354	127	914								
		グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6								
			利用件数	7	227	67	64	218	49	632								
		格技場	施設数		1	1	1	1	1	5								
利用件数				114	34	233	299	87	767									
合 計						施設数	55	利用件数	7,633									
小学校（全17校）										成果・課題	○施設の計画的な維持管理に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、市民が楽しみ共につくるスポーツのまちづくりに寄与した。 ○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設として管理運営に努めていく必要がある。							
中学校（全6校）																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	3,610千円		3,882千円	272千円	92.9 %				
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課		
	事業	03 久美浜湾ｶｰｾﾝﾀｰ-管理運営事業					3,991千円				
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料 ｶｰｾﾝﾀｰ使用料 480千円						
目的	豊かな自然の中で、ｶｰｾﾝﾀｰを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、ｶｰｾﾝﾀｰの管理運営を行う。										
主要な事務・事業の概要	○需用費			876千円		○備品購入費				198千円	
	・消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費			502千円		・ドラゴンｶｰ用船台（1台）				198千円	
	・修繕料			374千円							
	（目隠しﾚｰﾊﾞｰ取付、浮桟橋ｱﾝｶｰﾛｰﾌﾟ、ｶｰﾊﾟﾄﾞﾙ）										
	○火災保険料			62千円							
	○委託料			1,528千円							
	・ｶｰｾﾝﾀｰ管理業務			410千円							
	・浮桟橋移動設置業務			145千円							
	・ｶｰｾﾝﾀｰ消防設備点検委託料			44千円							
	・設備保守管理業務			929千円							
（ｶｰｽﾌﾟﾘﾝﾄ計測装置、浮桟橋、審判用ｶﾀﾏﾗﾝ艇）											
○工事請負費					成果・課題	施設の適切な管理運営を行うとともに、全国大会の開催など、ｶｰｾﾝﾀｰを拠点として本市のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。					
・ドラゴンｶｰ艇庫外壁修繕工事			946千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	30,851千円		31,850千円	999千円	96.8 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	02 網野給食センター管理運営事業					39,151千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	児童生徒の心身の健全な発達に寄与するため、小学校4校（網野北・網野南・島津・橘）、網野中学校に栄養バランスのとれた給食を提供する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（調理補助8人、事務補助1人）		16,458千円		○備品購入費（食器トレイ等）					159千円
	○給食調理及び施設維持経費等		10,611千円		○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料					1,310千円
	・消耗品費（厨房用消耗品、ボイラー用資材等）		1,923千円		○その他経費（保険料、電気設備保守管理委託料等）					986千円
	・燃料費（ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料）		3,708千円							
	・光熱水費（電気代、水道代）		4,980千円							
	○修繕料		1,077千円							
・厨房内調理機器修理		42千円								
・施設修理（空調機、浄化槽設備等）		284千円								
・車両点検、車検修理（配送車3台、軽トラック1台）		751千円								
○検便検査、貯水槽、ボイラー、地下タンクの各検査手数料		250千円		成果・課題		○網野町域の小・中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供することができた。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について、新しい給食センターへ移行するまでは給食調理に必要な修繕を行っていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	224,484千円		224,941千円	457千円	99.7 %				
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	03 小学校給食管理運営事業				223,308千円					
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				3,700千円		
目的	児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。			府補	子どもの給食臨時支援事業補助金				3,212千円		
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				15,000千円		
				諸収入	小学校給食調理機器類貸付料				6,444千円		
				市債	小学校給食備品整備事業債（過疎債）				8,200千円		
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。			消毒保管機1台（弥栄小）						978千円	
				スチームオープン1台（弥栄小）						1,812千円	
				食器洗浄機1台（弥栄小）						1,384千円	
	○給食調理			14,051千円	ドラフト洗米機1台（弥栄小）						94千円
	・消耗品費			4千円							
	・燃料費（ガス）			13,108千円	○協議会等負担金						26千円
	・修繕料（調理機器）			939千円							
	○給食調理業務委託料（網野地域を除く全13校）			174,414千円	○学校給食材料費支援補助金						26,638千円
	峰山、いさなご、しんざん、長岡、大宮第一、大宮南、丹後、宇川、弥栄、吉野、久美浜、高龍、かぶと山				保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。（小学校17校）						
	○備品購入費			9,355千円	成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 ○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで物価高騰による保護者負担を軽減できた。					
	真空冷却機1台（丹後小）			4,101千円							
	消毒保管庫1台（峰山小）			551千円							
	台下冷蔵庫1台（大宮南小）			244千円							
トレイ（峰山小学校）			191千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	77,549千円		78,157千円	608千円	99.2 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	04 中学校給食管理運営事業					81,522千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			1,508千円	
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。				府補	子どもの給食臨時支援事業補助金			3,000千円	
					繰入金	ふるさと応援基金繰入金			15,000千円	
					諸収入	中学校給食調理機器類貸付料			1,884千円	
					市債	中学校給食備品整備事業債（過疎債）			1,000千円	
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○会計年度任用職員任用経費 ・調理補助員：峰山中2人、大宮中2人 報償費、期末手当、共済費、費用弁償 ○給食調理 ・消耗品費 ・燃料費（ガス） ・修繕料（調理機器） ○給食調理業務委託料 ・委託料（網野中学校を除く5校中3校を委託） 丹後中、弥栄中、久美浜中				○備品購入費 業務用冷凍冷蔵庫（丹後中） 1台 立体炊飯器（大宮中・弥栄中） 各1台 デジタル秤（大宮中）					1,422千円 602千円 797千円 23千円
					○協議会等負担金					37千円
					○学校給食材料費支援補助金 保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。（中学校6校）					21,793千円
					成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 ○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで、物価高騰による保護者負担を軽減できた。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	239,820千円		567,000千円	327,180千円	42.2 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	05 学校給食センター施設整備事業					567,000千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）			12,533千円		
目的	網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していることなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行うもの。			国補	学校施設環境改善交付金（1/2）			183千円		
			市債	学校給食センター整備事業債（過疎債）			227,100千円			
主要な事務・事業の概要	○新網野学校給食センター施設整備 ・工事請負費 239,820千円 建築主体工事（前払金） 150,400千円 電気設備工事（前払金） 27,000千円 機械設備工事（前払金） 62,420千円 ■継続費設定による通次繰越額（令和5年度から令和6年度の継続事業） ・新網野学校給食センター整備事業 327,180千円 工事監理委託料 5,000千円 工事請負費 322,180千円 ※新網野学校給食センターの供用開始：令和7年度（予定）									
実質的な予算執行率	100.0%									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	10,380千円		12,853千円	2,473千円	80.7 %		
	目	04 学校給食費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	05 学校給食センター施設整備事業（繰越）					12,853千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	市債 学校給食センター整備事業債（過疎債） 10,300千円					
目的	網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していることなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行うもの。								
主要な事務・事業の概要	○新網野学校給食センター施設整備 10,380千円 ・現網野学校給食センター整備事業基本・実施設計業務委託料 10,362千円 ・建築確認手数料 18千円 ※契約期間：R4.5.17～R5.6.30								
				成果・課題	「学校給食衛生管理基準」に適合し、食物アレルギー対応を考慮した、より衛生的で安全性を持つ給食施設を整備するため、新しい網野学校給食センター建設に向けた設計業務を進めることができた。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	496千円		524千円	28千円	94.6 %		
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	50 学校給食一般経費					893千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活弁な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	衛生管理の徹底								
	学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに。衛生対策管理の消耗品の種類や内容を統一して一括購入・供給を行った。								
	○需用費								
	・ 消耗品費（衛生消耗品）								
主要な事務・事業の概要				412千円					
	○手数料								
	・ 調理員等検便検査								
	・ 給食用食材細菌検査								
主要な事務・事業の概要				63千円					
				6千円					
	○栄養士会負担金								
	・ 京都府栄養士会負担金								
主要な事務・事業の概要				15千円					
				成果・課題	○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。				

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 文教施設災害復旧費	3,452千円		3,480千円	28千円	99.1 %		
	目	01 公立学校施設災害復旧費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	01 公立学校施設災害復旧事業					0千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入 市有建物損害共済金 1,726千円				
目的		令和5年8月15日の強風（暴風警報発令）により被災した学校施設の復旧を図るもの。							
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 3,452千円								
	・久美浜小学校教室棟屋上防水災害復旧工事 867千円								
・網野南小学校教室棟、管理棟、渡り廊下、屋上防水災害復旧工事 2,585千円									

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	建設部															
	項	04 都市計画費	97,948千円		104,508千円	6,560千円	93.7 %																	
	目	03 都市公園費					(参考)当初予算額	課	都市計画 ・ 建築住宅課															
	事業	01 都市公園等維持整備事業【再掲】					106,961千円																	
基本計画		12 快適な都市空間の形成	主な財源	市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債ソフト）				37,000千円															
				市債	都市公園整備事業債（合併特例債）				32,900千円															
目的	都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。																							
主要な事務・事業の概要	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費		23,446千円		（参考）都市公園利用状況																			
	【所管：都市計画・建築住宅課】																							
	・ 指定管理委託料		14,605千円																					
	・ 修繕料（利用案内看板）		509千円																					
	・ 施設維持工事（遊具修繕）		6,985千円																					
	・ 工事設計委託料（小浜地区トイレ下水道接続工事）		1,293千円		<table><tr><td></td><td>施設名</td><td>利用数</td></tr><tr><td></td><td>八丁浜シーサイドパーク</td><td>29,222人</td></tr><tr><td></td><td>八丁浜有料駐車場（7/15～8/27）</td><td>7,009台</td></tr><tr><td></td><td>峰山途中ケ丘公園</td><td>20,939人</td></tr><tr><td></td><td>峰山総合公園</td><td>23,581人</td></tr></table>						施設名	利用数		八丁浜シーサイドパーク	29,222人		八丁浜有料駐車場（7/15～8/27）	7,009台		峰山途中ケ丘公園	20,939人		峰山総合公園	23,581人
		施設名	利用数																					
		八丁浜シーサイドパーク	29,222人																					
		八丁浜有料駐車場（7/15～8/27）	7,009台																					
		峰山途中ケ丘公園	20,939人																					
		峰山総合公園	23,581人																					
	・ 火災保険料、自動車損害保険料		54千円																					
	○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費		74,502千円																					
	【所管：生涯学習課】																							
	・ 指定管理委託料		44,016千円																					
・ 修繕料（遊具支柱修繕）		2,208千円																						
・ 施設維持工事（峰山総合公園トイレ改修工事）		22,319千円																						
・ 施設維持工事（峰山総合公園テニスコート一部張替工事）		765千円																						
・ 備品購入（球場用スポーツトラクター1台、陸上競技備品、トスフェンス1台、写真判定装置用ケーブル）		4,864千円																						
・ 火災保険料、自動車損害保険料		127千円																						
【所管：都市計画・建築住宅課】																								
・ 用地賃借料（借上面積：1,995㎡）		203千円		成果・課題	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。 ○八丁浜シーサイドパークの利用案内看板や遊具修繕工事などを実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。 ○峰山総合公園トイレ改修、峰山途中ケ丘公園遊具支柱修繕工事などを実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。																			